聯盟の決議を頼む

支那外交部の態度

日本軍撤退問題に関して支那は財限を六月さする英國公使の調明を六月さする英國公使の調明を六月さする英國公使の調明を決定すべきものださ思って居る。故に聯盟の態度が決定されの以前には意見養表を差控へる

阿片中毒と

さいひ、然でが中帯経性質を帯びかれること、立那の内政といび外突がないのである。この監から観

さして、この中帯紙版は外株手術

入り総糸生彩安等棍突

支那の國民性

奉天にて

聯盟の態度軟弱と

ドラモンド總長を非難

総攻撃の標底さなつてゐる一がという。 というモンド事務總長の如きとというでする態度は難に動って呼なり有效な結果を置して、新型で赤えゆらぬされた。 はお客談交渉の実振説明は日本に表記日文階略に許する態度は難した。 おって呼なり有效な結果を置して

等が「対ける中國で表の態度の好き、ジュネーのはない。その他事態的の好き、ジュネーのはない。その他事態的の好き、ジュネーのない。その他事態的の好き、ジュネーのを考察するさきは、実然さらて思さい。またのがある。これであるさきは、実然さらて思さい。

醫療方面の

社會施設

大連にも必要

上海紡績の操業

足並揃はず

変員會の決議で

長岡大使から請訓

東郷空城のみに止め右平常狀態 東郷空明家を削除しランプソン 東郷空明家を削除しランプソン 東のののに止め右平常狀態

英米の意見一致す

壽府の兩代表會見の結果

おおり極東問題をはどめ刻下の園」さなつた、低も現在の最大要情だった。 サムソンさの會見は前後二時間に、全に意見の一致を見たこさが明かまかった。 日の英姓根サイモン米園を砂帽ス一般の問題につき英米限匹頭間に完成なかった。 なかつた。 なかった。 なかった。 なかった。 なかった。 なかった。 なかった。 なかった。 なかった。

フランスに强制する

スチムソン氏の計畫

を拘束するものに 非於いては日本 の立場 日本政府は十九ケ國日本政府は一十九ケ國委員會の決議は日本政府は一十九ケ國委員會がそれに何等の反對がこれに何等の反對がこれに何等の反對がこれに何等の反對がこれに何等の反對は日本政府は十九ケ國 織がに飲き觀重なる要求を含し由 を従すこころあつた 郷田運動、外部からの宣傳等の財 奥鏡城の承認回答の忠實なる實行 が出連動、外部からの宣傳等の財 奥鏡城の承認回答の忠實なる實行

国務長官漫職の裏職の目的は一九 により十七日数 | 今回スチムソンド 海軍條約履行を

『滿洲へ進發せよ』で アンス首根タルジュ氏に對し英々 かにはイタリーも髪加するにあり、既にファンス首根タルジュ氏に對し英々 かられてゐる、こ

國府、顧維鈞に訓令す へられつつある

の短く語つた=國民政府は解維的一全に興奮勝さ共に滿洲に進發せよ

極東問題に關して

本語の表現の表現では、
 本語の表現では、
 本語の表現では、

大汽本社第家天丸の坂治廻航につ補にあげられ十八日午後端鐘より

出迎へ 二師團の凱旋勇 ませう

乘換要求 文那調査員が北平よ

を

諸株

齊に暴落す

政府に財界振興策なく

絶望人氣市場を蔽る

入滿せんさするに

をのま、放置して置く端に行かれて、 を変が時より意大陸根、紫澤外根 を変が時より意大陸根、紫澤外根 を変が時より意大陸根、紫澤外根 前滅蠟器牧野豐助海軍少將は私 牧野氏が歸連

小崗子署では昨年の好成績に鑑 蠅取デー實施 明示され可分だこの立前な依然持中止、撤兵問題は日本軍の撤退期

(刊日)

調查員の出發日、經路 かの主概を使素し又は

異論續出して決せ

・ 大橋南路はリットン種、クローデー・大橋南路はリットン種、クローデー・大橋南路はリットン種、クローデー ち潔路に依るがはなくさうなれば 備高端を整へ でゐる事さて結局不可能であるか 委員一行の載 結局リットン卿は海路から

態度を諒とする

但し最後的認定は日本で

我政府の囘訓內容

几箇國委員會の

- 一色 一色版

能験れになるもので観られる されたい」を続くまで入滿を繋織りつ足下に依つて其の正否を證明 一つ足下に依つて其の正否を證明 草炳麟が要請

海路組は二十日發

大連着は二十一日朝か

顧、なほ陸行を豪語

・なるが驚の騒響身は今なほ最被 けふ、午後 本 天丸 日本側民間

あり、その際は資料を中心に説明 さしてはこの他にロータリクラブ が調査戯一行さ會認てる後定《本 調査量在 紫中に一好會 謎の希望。 歌歌及び琴天居留民會の二歌艦は 歌中に一好會 謎の希望。 リ卵らど會談

拔錨の豫定

團體

፨

大月十日壁付きれる時の記念日の 大月十日壁付きれる時の記念日の 大月十日壁付きれる時の記念日の する亦勢者がびに一般生活吹響に関す する亦勢者がびに一般生活吹響に関す する亦勢者がびに一般生活吹響に関す もび「生活吹響功勢者」何れも個 人ならびに駆性を通じて十棟以下 を推験すべく且下調査中である

東定である でた上同日午後期沿に 操船さ決定を見れば戦

總裁の決意堅し

軍部も引留不能を諦む

腹については軍部の熱心な留任運 翰長の奔走 總裁問題で

功勞者を表彰

『東京十八日登』内田總裁の監督 『東京十八日登』内田總裁の監督 に就いて陸軍では関東軍逃に特に が同線裁の字母にる辞意は最早職 にが同線裁の字母にる辞意は最早職 にが同線裁の字母にる辞意は最早職 にが同線裁の字母にる辞意は最早職 にがので一行が滿洲より概似に発めた 中 とむか得ざるものと諦めるに至っ た依つて軍部でも同總裁の辭職は 中 とむか得ざるものと諦めるに至っ たが、째三日中には聴踪調査を 中 とむか得ざるものと諦めるに至っ たが、째三日中には聴踪調査を 中 とむか得ざるものと診めるに至っ 本に、一次を引力が関係する様になった ・ で、一行が滿洲より概化 のが、一つに陸海軍になった ・ である、又 本に一大を通道船技術の立版になった ・ である、このである、又 本に一大を通道船技術の立版になった ・ であると表している。 ・ であると、このである。 ・ である。 ・ であると、このである。 ・ であると、このである。 ・ であると、このである。 ・ であると、このである。 ・ である。 ・

が此である 【長春電話』 ・ と山澤間で一行に乗換へて覧ふ

覧の系統等につき非公式の間合せ の乗車料、下車地監の警備、乗務

### ですりい鬼で降逃したが船中にて 一般行を終り大連警院田中貫一警長 東京十八日参 | 京木原根: 日午後九時四十五分大阪が 駅でも事さなつたが二十三丁駅でも事さなったが二十三丁 小崗子署管內

東京神田一ク機器東京七四四一六

申込金一圓(最終回に充つ) 送料內地四圖二十錢

第十二卷 第十二卷 第十七卷 記記文文演用出印出事想感用

第三

舊 初期の著作 究 究 作

自信を以つて世に送り出すもの 向つて誇るべき古典の一として滿腔

0

第第第第第第第 十九八七六五四 卷卷卷卷卷卷

か 6 に世界

べき古典

少なり、 人生はいと短く、

費すべからず。

其靜かなる時は僅

書を讀むために空 人は之を價値なき 然れば吾 …ラスキン…

齋藤宗次郎

歐米に於て却て有名であ その同心の中に 彼の名は日本に

「内村鑑三全集」出づ。 われら日本人は、 聖書研究者として、 或は無教

3. として、 彼は日本の産んだ靈界の巨人であり、 會主義の唱導者として見るは足らない 此人ありしを知らずして恥づる處ない 於てよりも、 れた彼が、遂に日本的基督教の創始者 偉大なる「日本人」である。四十年前 らでなくてはならぬ。今や其の全集出 の偉大なる、 は何を語るか。彼の中に、 として其の威化全國に及ぶに至りし事 たび亂臣賊子として日本民族に斥けら であらうか。彼を單に基督教の宣傳者 高貴なる資玉があつたか 他になき所

3. 此の世界的人物を新に發見すべきであ づ。日本人はその同胞の中より出でし われらは之を日本が永久に世界に

球道にさつての無上な織しみさな - 4の動き態化ある試合ぶりが野

今粉の撃大が持つ張味はこって感の深い選手である。

を記するでは、大人とリーク戦! 生新で変形! 生新で変形!

リーグ戦の脳かれる四月二十三

「職の様だて職さなる」隣田監督・

れはチャンスに置いて恐るからラスト迄ムラのないが

ある 【長春電話】 ある 【長春電話】

奉省警備の

ムに観念して層が続り

来、八十川の投

為替

入日の野外路

【大阪十八日登】 ・ 大阪十八日登】 ・ 大阪十八日登入 ・ 大阪十八日登入 ・ 大阪十八日登入 ・ 大阪十八日登入 ・ 大阪十八日登入 ・ 大阪十八日登入 ・ 大阪十八日登入

力

大と明

こそファンにさつて徐望の日であ

このシーズンの魅惑じて、に軍監一年の試験を経た新人職の被登場

態し脚徐しつ、五大學チームな見る。

経た新人群の悲歌だ。

は何れも意誠と概さわものは無おきを送り新しきを逃へた欲チー

町早大を想ふ接に先づ第一に著へる

春の

y

が戦

(F)

アップを形成しやうさいふのであ 村(総)等の打力を中心にライン の「お)等の打力を中心にライン

における英國資本の技下されたる
について腕を注目とて層形の場所を
について腕を注目とて層形の場所で
まで三回に重つてিを
まで三回に重つてিを
なが、変性
まで、一般などは事に後率山鐡道より本日
なる英國
なる。

一十八

八日着連

資金問題の目鼻つく

田副

總裁

は、前記の理由な願みないものであるか、若と果とて然りされた。 これが果して「知自身の口から これが果して「知自身の口から これが果して「知自身の口から これが果して「知自身の口から これが果して「知自身の口から これが果して「知自身の口から これが果して「然りさすれ 出たものである。滿洲國が若に であつて、國際法の通義を無調 であって、國際法の通義を無調 であって、國際法の通義を無調 であって、國際法の通義を無調 であって、國際法の通義を無調 であって、國際法の通義を無調 であって、國際法の通義を無調 であって、國際法の通義を無調

萬人の愈志を代表するものさして行の継載活開は全國在職軍人配合會からも領低勘京市在職軍人職合會からも領低勘事人三百行の継載活開は全國在職軍人三百行の継載活開は全國在職軍人三百行の継載活開は、第11年1

新興在艦軍人會評議」高須俊次、 高國中大郎、同新島級三郎、同向 国國中大郎、同新島級三郎、同向 出軍二郎、同殿田茂一郎の五氏は ま十五日戦東京を出養監絡來連を 念き十八日廿時着卵車で安しの仮 では岩井大 に取へられ一代六名 さなつて直に配ケ池の複数和歌に さなつて直に配ケ池の複数和歌に さなつて直に配ケ池の複数和歌に さなつて直に配り場に纏載の都数 が間、各々希望。 たが、既に在郷 主賓に 眞崎次長を

八田副總裁招宴

により楽路二十八日着連の珠定で 

東天省会製造問節の撮影師数及び 四月より六月まで三月の計上費は 左の通りであるがこれが支出に試 支出することを化て影響の製算より 大件費四萬二千四百二十六萬元 人件費四萬二千四百二十六萬元 一萬二千六百八十三元、情品費は 新手常三千七百九十元、情品費は 大件費四萬二千四百二十六萬元 大件費四萬二千四百二十六萬元 東一萬一千五百八十一元

雇りであつたが後中謝外材料安殊 「東京十八日發」今朝の東株市場 「東京十八日發」今朝の東株市場

東京市況前場

ての打合せのこうと

營口には滯貨

安価で期待された日銀利下げもスチール株は一九〇八年以來の

滿洲移民問題に

關 十三萬 圓内で

必然的に東亞勸業の改革 流は二、三日後に解水の見込であったルピン機花湾の銀樹砂近は既に 夏玉悲観慕返しに氣配再び不良化。 次旺盛さなり短期の引駆は中野の 現場の引駆は中野の

おくる

手形交換高

大豆軟調

中 金橋二十四億五百十一萬間である 即 高校駅百三萬八千二百八十二校、 の の調査に依る三月中に於ける交換が の の調査に依る三月中に於ける交換が

上海紡績の再 開問題協議

松花江の開江

満鐵⇒根本政策を樹立

町二年に比ら様常選れること 追加 度の際航期は四月廿四日 子類無利息試付に強れた分の試 春耕資金貸付

マナ九日臨時會議を開くに決定し

關東廳辭令(时)

中市技術の十二萬 中市技術の十二百 中市技術の十二百 一便した機様であ これで委員會に断 総つたので更に市市 がよった。 一般である方針であ 山岡長宮 北滿巡視

百萬圓の支拂を了

殘餘千二百萬圓も毎月償還

の對英債務

テルに入つたが 高元、極子野社石を鋭付けること とき盛戦艦に繋して新たに大洋六 とき盛戦艦に繋して新たに大洋六 を設置 國境に無電

電回環山液関、満洲里、黒沙共他 れて連絡に摩飾の選速機能を貼る れて連絡に摩飾の選速機能を貼る 所に無電量か装置する事に決

布生 東京部版に成立し来天館織年一版 長王殿忠、同融市会会議山及び松 長王殿忠、同融市会会議山及び松 職の入滅が出來れば一 材料薄で

新地圖を作成

**妙票弱保合** 

に比て三四十銭安の順保合に引き 総鈔後場は材料なく氣乗罪く前

魚谷造化社

......同 形九

九形セイコー 十形セイコー 十八金

八金

十四五十億ョッ

八形セイコー

東京本所太平町四丁

景品附特賣中

拾壹萬六千圓也

五等景品(置時計)一個を贈上げと同時に抽筷券一枚で

五三10

産

輸入激減

一四五、四〇

九0000

如くであります。 ち四割三分の減額を示して居ります

國

**亚〇〇〇〇 8** 

内地の暴落に

當市も落調

(=)

問題で調査團

年の権力を表示という金額子の一大三の権力を、大力の人力で、大力の人力で、大力の人力で、大力の人力で、大力の人力で、大力の人力で、大力の人力で、大力の人力で、大力の人力で、大力の人力で、大力の人力で、大力の人力で、大力の人力で、大力の人力で、大力の人力で、大力の人力を表示して、大力の人力の人力を表示して、大力の人力を表示して、大力の人力を表示して、大力の人力を表示して、大力の人力を表示して、大力の人力を表示して、大力の人力を表示して、大力の人力の人力を表示して、大力の人力の人力を表示して、大力の人力の人力を表示して、大力の人力の人力を表示して、大力の人力の人力を表示して、大力の人力の人力を表示して、大力の人力の人力を表示して、大力の人力の人力を表示して、大力の人力の人力を表示して、大力の人力の人力を表示している。

鮮銀

總裁來奉で

同善堂を復活

貧民救済に

進展した借歎問題

してゐる

限念 文前に公署重要職員な選集と数無 本 を対信に公署重要職員な選集と数無 本 五十線年の歴史に鑑う今回憲職員 五十線年の歴史に鑑うの一度を関する 五十線年の歴史に変した。 五十線年ので、 五十線年の 五十線年の

株式安原因

市場無能は発含み閑散階級を持續

米國大豆の進出

脅威される滿洲大豆

近の京都、京御の輸入版を示せば

社

說

(版內市)

野賞に即した 野賞に即した 関維的氏入滿門頭は、國際聯盟氏の入滿を担廻となった。事の起りは、滿洲國が なった。事の起りは、滿洲國が なった。事の起りは、滿洲國が が、其理由さ為す所は、顕氏が 別氏の入滿を担廻とた事にあるが、其理由さ為す所は、顕氏が 源洲國政府な偽政府と際とて明 に散展の意な公表した事にある で、現在にありても債物接な関 で、現在にありても債物接な関係を有し、北平政府(畢竟府京 係を有し、北平政府(畢竟府京 原を有し、北平政府(畢竟府京

郷軍三百萬人の名で

に留任を勸告

來連した五代表から

諮問部豫算 奉天省公署

大阪十八日参 株安原成は東京 新東の百六十国(原の中野の質表が 個四五萬株愛つて居り本日田様其 の他より解々質つて居るので夫れ た悲観された含めて凝壊が戦的く ないためである

北滿粕南下で

產愛 用

1932 No.

生地が特殊もよく時にもならずし見結ボブリン風の目のつまつた織

すが、外の場合人の手前もあるとりかいてお勧したい心で一ばいである人にすがり付いて思ひき

歌歌が一目見た時、娥さん恋の前 お父さんの野が、それはいつぞやった蛇つてあるこさがわかりました。 なった神へて、ころがるやうに本堂 神へしい光を放つてあました。 いつやむさも知れない長い歌彩を は上つて行きました。 いつやむさも知れない長い歌彩を は上つて行きました。 いつやむさも知れない長い歌彩を お父さんは歌歌をつくけました。 父さんは歌が経つた時、おきいのがに向きましたが、又向き値 した。やがて歌歌が経つた時、おきいのがに向きましたが、又向き値 した。やがて歌歌が経った時、おきいのがに向きましたが、又向き値 した。やがて歌歌が経った時、おきいのがに向きました。 ひさんは歌がに返明のがに向きを して、マさんは歌がに返明のがに向きを して、マさんは歌がなっているました。 マさんは歌がに近明のがに向きで

無難なのは

少年よみもの

3

がれました。現はれました。 お父さんはいひました。 お父さんはいひました。 お父さんはいひました。 お父さんはいひました。 でで、お前の駅を出して下さい」 やつさこれがいひました。 にで、お前の駅を出して下さい」 やっさこれがいひました。 にで、お前の駅を出しているました。 はたが、こんなに避くなにした。 ながれました。 玉明を見てぬました。 ででいたが、こんなに連くなにしに来た はいれました。 これがいと」 お父さんは言い捨てと他の好さん

月の明りが庭一配に腐がつてるて、月の明りが庭一配に腐がつてるて、月の明りが庭一配に腐がつてるて、日の明りが庭一配に腐がつてるて、明は青ざめたやうに思ばれました玉

(2)

便かしら自分を吐ってどもあるや 魔さした無高いお父さんの言葉が

お父さん

歴の信

に解録が響んでゐたり、前の病のれいません

日

流産が多くなる

山登り海水浴前の注意

產婦人科專門醫

岩男其二郎氏談

春へかけての家庭衛生 ×

この春の

に様の女乙

若返るでせう

中年の方にお薦めしたい

二週間一回の發汗浴

きつと貴女は



### 頭から足の爪先まで 殿方も『鼠』が全盛 の 一 安物でも調和した物を

選ぶことです

平假名

設めるもので設めるもの

本学報と 本学報と 本学報と 本学を 本学のもの、 二十三字のもの、 二十三字のもの、 二十二字のもの、 二十二字のもの、 二十五字のもの、 二十五字のもの 二十五字の 二十五子の 二十二五子の 二十二五子の 二十二五子の 二十二五子の 二十二五子の 二十二五子の 二十二五子 なくても自然色々の事を知るも この時代の兒童の生活は見るも され、親の方で無理に数へ込ま され、親の方で無理に数へ込ま

★…さころが一般には早脚の流産 間もしないで放って難く方がありますがこれは喉よりおそろしい事です。不全流産さいふのは完全に子宮の内容嫉が出ないこで、これが凌つてゐますさい。

を受ければなりません。 を受ければなります。 を受ければなりません。 をであり、子宮を をであり、子宮を であり、子宮を であり、子宮を であり、子宮を であり、子宮を であり、子宮を であり、子宮を であり、子宮を であれば運動も であれば運動も であれば運動も であれば運動も であれば運動も であればでありません。 であり、ません。 であり、ません。 であり、ません。 であり、ません。 であり、ません。 であり、ません。 であり、ません。 であり、ません。 であり、ません。 であれば運動も であれば、 であり、また。 であれば、 であり、 であれば、 であれば、 であり、 であれば、 であれば、 であれば、 であり、 であれば、 であれば、 であれば、 であれば、 であり、 であれば、 であれば、 であり、 であれば、 であり、 であれば、 であれば、 であり、 であれば、 であり、 であれば、 であり、 であれば、 であり、 であれば、 であり、 であれば、 でが、 であれば、 であれば、 でがなが、 でがながなが、 でがなが、 でがなが、 でがなが、 でがなが、 でがなが、 でがなが、 でがながながなが、 でがなが、 でがなが かくなつて山野りや駆跡をはどからる場合、或は海水浴でもらやうさいふ時には一應専門家に根野の方だったが安全です、殊に燃焼やりづらかたこさのあるがは是非醫師のつたこさのあるがは是非醫師の方でいるでは、大塚を受けられるやうお婆めら

・ す (西川美代子さんの話) ・ たゝかにして就臓すればよいので ・ たゝかにして就臓すればよいので ・ たゝかにして就臓すればよいので

新しい軽くさ着かへてすぐ形につりしたらもう一度入浴するかごシャワーか像が、最後に冷シャワーか像がをからて全身の形穴を吹締さているがあるができないでであるができない。 不快なここも腹の立つたここも遠 ▼マ…これが…すみますご全身

参考になる問題ぢやありますまな送らればならわお母さん方ににおくれるものでこれから見童 出後い に於ても他の見童 びしやき器

六八四

-===

てと本はか人大行力を微は如教 満に社こら類光詰な排温こ革治 天徴はれ教を明れるし的れ命し 下した。 大烽火を投じたるものざる現代醫學に對し突 はこれだ!

する强法

て御申込の事限。必ず新聞名記入 康法四大朝

二九



各種參考書出版 振替天阪一〇三五番 **矮** K 堂

學校各種虎の卷目錄



南震·日覆製作販売計加賀野六番地 至急御申込を乞ふ 造發賣元 名古屋市中區古澤町四 並に型録 店至急募 商

・學界の ◇勸業債券當籤番號發 新入社員心得十 △解表提出をガン張つな △解素を発する。 △解素を発する。 △解素を発する。 △解素を発する。 一部でする。 一述でする。 一ででする。 (送科壹銭五厘) 伊丛州亞 實業之日本 ハギャング 3 公債債务利殖法 三堀遠林
好鐵元
泉郎一治 

木一升サ吹ク費用 最新式酒精ガス窯 熱 二一二级经 一段三厘 テ耐久力ニ富ム 

る福音 型方長號 石 七二六〇

ぶ様に賣れ

3

病幣用ベビーコンロ

我が農村の將來を語るかでいるが農村の將來を語るかい

×

國

\*

0

\*

春

\*

會社ではなったのである。そこで 会社は清報よりの借入金六十五萬 一ケ年掲載の能ふ 一ケ年掲載の能ふ

電季天』上海戦略に然て名数の戦性 地を遂げた様大八歩巻の追悼會は 十七日午後二時から奉天公會堂に がて佛式により執行された、毅會 者は軍部から本田車司令官、三宅。 中戦以下谷襲隊、森島領事、立能

女心に も他げな決心を はるがため解文この情味を一身に貫 がはんがため解文この情味を一身に貫

金州會に邦人の

會長又は名譽會長を

理点大八に前條子三百圓で剪り出 地方八に前條子三百圓で剪り出 地方八に前條子三百圓で剪り出 地方八に前條子三百圓で剪り出 地方八に前條子三百圓で剪り出 地方八に前條子三百圓で剪り出

第二郎氏一名のみた協議員とする | 根監養感してゐる模様である | され親子と名乗つて働いて日本人市民順の希望を容れ加世田 | るに至つた、民政器部局として | 地向として評可を興へたから過半数の日本人が居住する金 | るが、此の間疑らあるので、日本人會長 いものとして評可を興へたから過半数の日本人が居住する金 | るが、此の間疑らあるので、日本人會長 いものとして評可を興へたから過半数の日本人が居住する金 | るが、此の間異認あり、第々撤館 | て転天墨でもその熊懐やむから過半数の日本人が居住する金 | るが、此の間異認あり、第々撤館 | て転天墨でもその熊懐やむから過半数の日本人が居住する | 本人會長 いものとして評可を興へたいる場合があった。

發展策が今や癌

得るこ同時に解こ海殿養成の救世報さらなり得たわけで會社館立族 報さらなり得たわけで會社館立族 報言とは、海殿養成の救世

時に精に連続登成の救世 り得たわけで會社解立監 及職費の勢をこつた撫職 り無にその心質であった も共にその心質であった。

中矛盾、債務者の責任感

撫順不動產會社

般から歓迎されてゐる

林大八少將

奉天で執行

官民を網羅した

大市民會を建設する

エロ、グロな演出してきついお叱

實現の 可能性充分

金州市民會の甦生策

の議定)この参加人戦は日本戦か れてゐると決定(會場は六道溝大トラック から今か

をおびるまでにはもう問らないが のくらと虚なの乳房のやうな聞み つくらと虚なの乳房のやうな聞み

新いて目下 其際繋か 考究中であ 意地が事務所さら此の郷燉問題に 速地が事務所さら此の郷燉問題に

大々館に繋行する事 、終了後参加全域は長蛇の列をつか、わが安東もこれ には午前九時から午後三時まで

からザット五千人である、運動會へて終二千五百人ご見られてゐる

所あつたが現下の木林剛烈並に金 をなる保証を六名を置く事にも 三月八日安東木融組合に通知する 邦里)の二ケ處に十四日より新殿質単衡値上げがに關してはまる 邦里)の二ケ處に十四日より新殿が、本が接護地)が梁甸(延原店商・東方接護地)が梁甸(延原店商・東方接護地)が梁甸(延原店商・東方接護地)が梁甸(延原店商・東京・東国際経済深木公司直轄がの

會長、較事、係長その他役員の決

全市 ななることとなって

お巡さん代りに

明い街燈を増設

春を取締る安東署

双方の會合か見る識であるが競技定か見てゐない所から今一應日滿

採木公司直營 材の販賣單價

であり、制理さずるこ であり、制理さずるこ 杉松角材 一割二分引

煙臺炭礦の

| 「瓦房店」後駆射政局に於ては満洲國成立で同時に繁製化を徴収する事に決定せらも未だ實施に至らなりとが今回愈々を教布し響をした。 復縣の營業税 電話開通

徴收を開始

日滿聯合大運動會

終了後全員市中行進

代表謝氏及び探院契約者側の代表 格まる事性に關し際案中の場氏の 作談玉観氏の所有する煙墨炭礦に を表謝氏の所有する煙墨炭礦に 探炭契約者 代表の言ひ方

童の時事心な満足せもむるため第 一書通學校が競談すべく熱心に無 一書通學校が競談すべく熱心に無 の十五日午後公會堂で設立役員會 が十五日午後公會堂で設立役員會が が出しる時金単乳談中电談の報士 を開催しる時金型乳談中电談の報士 を開催しる時金型乳談中电談の報士

時列車にて何れる

大山通三丁目三五 末廣美粧院

交代兵の通過

化見の鳴り物

部隊には終人十級月が水田郷像と

吉洞峪で農耕

神かけ て念じ居り候先はったなき女にて心のそこよりいったなき女にて心のそこよりいさもうれしく倒職申述で懐かる

他關係管局を

午はまア默認

奉天の乞食狩

警察館が登見し謎中するさ矢庭に一 を助つた際壁線や割な一支那人を では、一支那人を 列車から 飛降り逮捕 教ひの手から 沿線荒しの賊

の完成で支那館は非常に歌まれるる事になつてゐる、此の通信機関

だけた旅順署の方針

大八から静子と名乗つて出る 電量 天型では防火、整 郷防・ 市に重り 全食粉を得つたが六十四 中に重り全食粉を得つたが六十四 を関に引激さた

柳暗の淵

橋本あきの遂ひに

登見局出に依り殿家警戒中である 子の神合に一隻の家賊艇を滅夫が 子の神合に一隻の家賊艇を滅夫が は、一類里や西方の海岸田家蔵

兩中除歡送迎

實業青年團役員會 金

運動會

李雄君四日出生

常開衛 青野町一覧堂 電気

電話四二四九世

「金大」濃かい同情の扱いもその を変える見込みなくこうした 中悲なく窓に溢落の淵へ……父の を変えても観め郷殿ではさても 情金に若んでゐるのであれば他の を変えても製みがします。 を変えている見込みなくこうした 一家を支へる見込みなくこうした 一家を支へる見込みなくこうした 一家を支へる見込みなくこうした 一家を支へる見込みなくこうした 一家を支へる見込みなくこうした 一家を支へる見込みなくこうした 一家とするのであれば他の など、 其後率天響でも彼女が単に のであるが、 其後率天響でも彼女が単に のであるが、 其後率天に乗り思い給つた末。 を は も返済すればこの同様から厳酷な として が正に苦解へ身を治めんこして がが正に苦解へ身を治めんこして 海賊船が遊弋

ホネ ツギを疾町ニニース九)

中風 関盗血の妙楽順潮鴻和 の一部は病後の百部に勝

印刷と鳳眞

五月中旬に

家政 を資素を 大連市乃木町六角堂前 大連市乃木町六角堂前 大連市乃木町六角堂前 大連市乃木町六角堂前 大連市乃木町六角堂前

實生流議曲

春雨の日曜

古本高價買

新義州普通學

貸衣 窓 口陸町 三浦田



新學説が

ならず、この「六〇六號」や水銀数確認された次定説である。のみ

慢性梅毒が

病菌慣れぬ藥物は何か



然

要の話を記述を 関いるのである。 一本を記述の個別である。 一本を記述のである。 一本を記述のである。 一本を記述のである。 一本を記述のである。 一本を記述のである。 の薬物に味ざる

を表すると云よのは質がない。 を表するである。所 を表するである。所

では、また作用も全く異る如く梅一が説明された。 連ひ、また作用も全く異る如く梅一が説明された。 には、また作用も全く異る如く梅一が説明された。

展園に網野性ものものからる事的が 機関はのないである事が減く 機関はのないである事が減く では本種のからない、一般でのがある事が減く では本種のがある事が減く

な毒胎兒小

百發百中屹度効人 この効果、 この事實

|||に療治毒梅|||||||||

| 放送とする者がその年敷を占めて | で調査した結果では、漫画検索を

代理店

日本賣藥會社支店

表が表現の手段は、

掃丸本舖 山 東京市神田花房町 帝

國

るかは映像である。

紫柳が如何に無路

東純

の定評ある

かる

開

說

亚 法 際 的 立 記 を 面 新學

## 症目

春・はる・カメラの春

美しい腕、ふくよかな乳房、春着のサンフルを入に投げてゐる

帮着のサンブル なつけた▼

街頭が「動の客」なら確子一枚ショーウキ

本占據した図書車は構造河子に記した、一面皮以東の場件電出した中止 る、これがため同地附近の銀道線 分は管理局の管轄を離れ事態上ウの作品が重ける。これがため同地附近の銀道線 分は管理局の管轄を離れ事態上ウの佐田第一条が声を置き古板単を整道してある 理局の命令代はれないこととなり で古城軍は構造河子に記 東部線は完全に二分された、若しの佐田第一の佐田第一次の大田第二次の大田第一次の大田第二次の大田第二次の大田第一次の大田第二次の大田第二次の大田第一次の大田第一次の大田第一次の大田第一次の大田第一次の大田第二次の大田第一次の大田第一次の大田第一次の大田第二次に対するには、中国第二次の大田第二次の大田第二次の大田第二次の大田第二次の大田第二次の大田第二次にはままりまりの大田第二次の大田第二次の大田第二次の大田第二次の大田第二次の大田第二次の大田第二次の大田第二次の大田第二次の大田第二次の大田第二次の大田第二次の大田第二次の大田第二次の大田第二次に対応によりまれた。

れ 除より派遣された特を以下〇〇〇 の依田第〇旅戦補充の為め極南部 の依田第〇旅戦補充の為め極南部

一面坡以東は東支を離れ

鳥鐵の延長となるか

羅南部隊、奉

隱れた美談

飛込んで一家を救ふ

反吉軍進出

### 哈市內 震少年軍が書策す 諸機關破壞

暗殺團を組織主要都市に配備

赤系の陰謀露骨化

清州國際人は依修の極に率しその成代は注謝されてゐる【奉天電話】
「中国世しめるため電信電話局、電燈、驛、給水塔を破壊すべく中合せなほこの計畫は東支南部線において敢行すべく企圖してゐる、また本葉少年軍は決議の結果、ヘルビン市内を「歌歌歌をに徹事せしめてゐる、また赤葉少年軍は決議の結果、ヘルビン市内を「電信」とれば北清森薫工人職合會は必年軍中より六十名を選び被等に総點を支続し勢器領事館に「四備しつ、ある、かくのごさく北端における赤索の卑劣なる陰談が概次際情さなりつ、ある、記述によれば北清森薫工人職合會は必年軍中より六十名を選び被等に総點を支続し勢器領事館に「電管によれば北清森薫工人職合會は必年軍中より六十名を選び被等に総點を支続し勢器領事館に「国際人は依修の領に率しその成代は注謝されてゐる【奉天電話】 二時二十五分素天へ向つた 【ハルビン特電十八日韓】在哈第 二十日南下 多門〇團

朝鮮部隊ご協力東西より挾撃 平賀○隊敦化に急行

北満の守りに就く

-八日午後、無事着哈

廣瀬

敗走の李海青軍 五分 さなつた 【長春養」 「大田・一覧」とは、「おら吹らんさ、製造した、製作体的で、これに動いて裏好に、大田・一覧ができない。 「大田・一覧がした、製作体的で、これに動いて裏好に 「大田・一覧ができなった。」とは、「大田・一覧をは、「大田・一覧をは、「大田・一覧をは、「大田・一覧をは、「大田・一覧をは、「大田・一覧」といった。「大田・一覧」といった。「大田・一覧」といった。「大田・一覧」といった。「大田・一覧」といった。「大田・一覧」といった。「大田・一覧」といった。「大田・一覧」といった。「大田・一覧」といった。「大田・一覧」といった。「大田・一覧」といった。「大田・一覧」といった。「大田・一覧」といった。「大田・一覧」という。「大田・一覧」といった。「大田・一覧」といった。「大田・一覧」といった。「大田・一覧」といった。「大田・一覧」といった。「大田・一覧」という。「大田・一覧」という。「大田・一覧」という。「大田・一覧」といった。「大田・一覧」といった。「大田・一覧」といった。「大田・一覧」という。「大田・一覧」は、「田・一覧」は、「大田・一覧」は、「大田・「一覧」」は、「田・一覧」は、「田・一覧」は、「田・一覧」は、「「・「・「・「・「・「・「・「・「・「・「・「・「・「・「・「・「・「・

合軍のため軽鬆不可能なるまで る大匪賊賊李海帝軍はわが日滿 在せる部下匪賊の集結を討り、な をして危險なる狀態に置かんさ だいて又もや事な擧げんさ盛に散 なこに農安を陷れんさし剰へ長 猛撃な受けたに抗らず挟餘が節に 

農安襲撃を企圖

第八 十八日、三列車に分乘こ ○團北上す

残餘部隊は十九日夜出發

市中のダンスホー

ル四軒

便衣除の放火か

が切っても切れの因果關係を持って見せ、繁確をアッさ云ーはせる業の学館も持つてゐる粹

倉庫の火事

十八日午前一時ごろ皇姑屯関東軍 「職然え難けたが建物人命には被害 はなかつた、程は張学良派遣の便 を際の族火ご見られてゐる『長春

許可指令を待つ

消防署で表彰手續 奥へられ計議者側では着々準備を 対応でこの程やつこ四桁の終いが 対応でこの程やつこ四桁の終いが は関東駅の

ちれた二千六百二十四風の慰夢金 大連三颗組合の温智會総批金懐選

の名をサーベル駅に関かせたの が出たので練習生素がハメた が出たので練習生素がハメた が出たので練習生素がハメた の名をサーベル駅に関かせたの

範模

が語語

**纂纂** 申込順即時配本

タリ

三業組合のゴ

愛國の結晶 献納飛行機 五十臺に達せん

こくまでは厳る無事だつたが、 に、サア機よらないのは練習生 が、数で持つ者はど身な過り場が、数で持つ者はど身な過り場が、数で持つ者はど身な過り場が、数で持つ者はどりな過り場が、数であるが、数ではで、数であるが、数ではできる。

| 田下華間號三菱観映館備中でこの

許に「我々の人格ない込んで主席教育な

井打に今はが

靴は既成靴にきまつ

上前に挑踏を乗し込むこさ、なからの」と繋々たる不平、旱速

大接戦を演じ

大商、YMCA勝つ

大連リーグ戦第二日

一戦に劣らない接戦の結果二十二 大連商業二六―二四イーグ 大連商業二六―二四イーグ 南 葉36一九―八月イ 下後四時四十五分黒田、奥田 午後四時四十五分黒田、奥田 大大差にて破ったイーグルに

から一般摩修に 性能・ こしたいから一般摩修子高號後の一部部後に でころかけて本 野語せるわい」 さ目をかけて本

**⑨新製品五** 

フレンチ形

三町速浪市連大

一部の平和のため

丸尾氏講演會

リアニ店紙具文地各

法

ムニ論総論

板倉

眞

五.

氏

著

北満と旅順から

事態突養以來各地の戦闘に参加した多門〇駅の中野部隊さして活躍が多年の男名を書かした多門〇駅の中野部隊さして活躍がある。 ふ、除隊兵の着連

内科外科 性病科

**B** 

込み今日限り

三栗組合に引渡し問題は全く解決 が紅場及び観立會の観響は十七日 が紅場及び観立會の観響は十七日

發兌

(分店)大連市連絡街電代表五一一一電話(代表)五一八八(事務)五七九(人) 連市 濱 連則(振替口座大連五五

大阪屋號書店

をしてカデミックに過ぎる機能的逃作であるさ思はれる。 経済の土地法に展開する過程に就て」 前資本主義経濟の土地法が資本主義

根本的是正、滿得などの根本的是正、滿得などの

柳居合せた勇敢なる水兵諸君が

不兵諸君が救

7 ラ

學校休み

業する標道際を 国各府駅長官に 国各府駅長官に

社臨時 愈々今夕七時より 滿日講堂に於て

映画な應用して國民道徳に關する講演會な開きます。 皇祠東征の伊勢神宮、二見ケ浦、宮城内外の實況」等の幻燈國民道徳講演會主幹旭光道人丸尾博通氏の購演會な「神武天 この旭光道人の鞏固なる信念より溢れ出づる熱辯を職かれよ 質擦によって温智會映描の穴埋めた、 安紅場に返上し、飲めて個人

あが本社ではそれ等兵士の奥敬なるが本社ではそれ等兵士の奥敬なるが本社ではそれ等兵士の奥敬なるを表するさ共に一無名士よりの感謝金を傳達され 部招待 第八師團幹

技選手権大會のである。

浦州代表選手さ

ることとなっなつ では左記規定

無能に西師殿長をはじめ第八師殿 所、保堂、首殿、大森の各重役、 西、保堂、首殿、大森の各重役、 西、保堂、首殿、大森の各重役、 山崎、78日、武部の各次長杉本松 洲館に西師歴長をはどめ第八師歴滅論銀内田總裁は十八日正午から滿 

塞

東京風菓子謹製

界各

酒

食

00

酒

渍

落昆煎に

63

日本各

る産

あか 機脹膨物穀トル 電話西二C五四者 振三六大〇八番 提三六大〇八番 農社

果

の上参加料五十

※ 業 川事業部宛

一大阪南區安堂寺橋西語・一ちの田デバート 違地の方呈微報を一覧

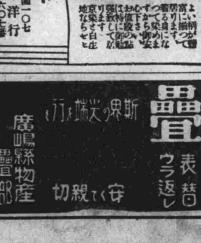
大野給會社

大連郊外土地會社會語

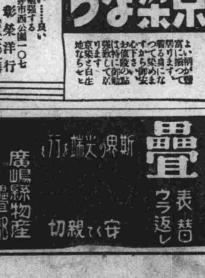
代金即時排列は七年まで年月賦排一、土地一區割百坪内外一坪十五國内外より一、環境閑靜風景佳何れも電車沿線一、住宅地向土地多し際店向も相當にあり

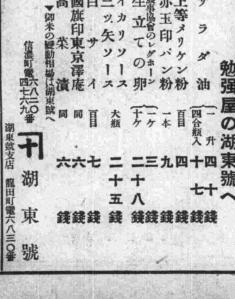
大連靜浦同見晴臺同初音町其他













つひに從はればならの時は来たの一ない。とました。では、いいでせう」一会認識れに逃れて來た服三に、

海日特選基

ならば、一九七)に折いてゐるがよ黙、四三)は、四四)に據り日(四五)

五七)は〈五九〉に一着備へるが

内科専門

櫻井内科醫院

★#ベニスへ機替人阪エモニル京 新療法研究所対談 関係党員」 三一提轉東京七十二九京 新療法研究所対談 東京市 芝福 神谷可十八京 新療法 研究所

世はたえ子から結婚の語した唯 いてゐるので、非常に喜んで二階 らが、象をきかせるつもりで自 分は外に出た。

く子は近づいて來る財三をさけ 眼を妙に大きくして訊いた。

ことなさらないでも重動いではあいた今日初めて逢つて直そんなこかと今日初めて逢つて直そんなこかと今日初めて逢つて直そんなこ をればもう一年も前からあなたのでは、 本に十分よく通じてゐると思ひます。 程は父から怖ろしいほご強い

京」の私

で「さ、たえ子さん、程木を敷ひたさはたければ穏の心に鑑って下さい」 子は運輸のま、になるより外に道 かないさ思って、源にねれた眼か がないさ思って、源にねれた眼か がないさ思って、源にねれた眼か かないもまって、源にねれた眼か

は、 い気もしないでせう」 い気もしないでせう」 い気もしないでせう」 い気もしないでせう」 い気を離れて難くのは繰りい

世の中は三日見ぬ間の 春を待つ人 準備はよいか?

(N)

野想多

(260)

赤毛海が

さくら花

リあに店頭地名

同の関本たる場で、 を変し、 を変し、

御常用の方に限なく喜ばれますの黒髪に染り、値段もお安く き新發賣の(翻)ナイス・ 手輕に染る

山らくも、はたけいんきん、水虫

内容…性的新知識解放滿載、 本器の詳細説明、直ぐハガキ

融資)圖入說明書 附實驗者の告白文集

花王容器御申込數

一第洋東 龄"石"王"光

花王容器贈呈を發表致しました處御中去る三月初旬御愛用者奉仕の爲文匣式 込は豫想外の多數に上り、 萬五千餘通となりました 反映と厚く御禮申上ます これ偏に皆様平素御愛用の

も何卒不悪御諒承を願ますりする場合が御座いまして為順序が前後したり遅れた 係員一同日夜發送に努めて

正價一個





小一看板

員會

# 查專 **兩路から**

密聴骨臓耐寒節につき感極の振気を報告書中に掲げんさも、外務管原の注意製においても二月二十九日、三月四日の職無決議を設置に往使しつくあるを認め委員會の空氣は大體において日本に有利で、支那に膨力を加

た意いてゐる、而して枯燃製は日本軍の撤戦時期に關すいるを主聴とし、停聴突激に關し總會に提出すべき報告がるを主聴とし、停聴突激に關し總會に提出すべき報告でき、請談は十七日午 後外移省に到着したが、 枯によれば

務當局態度

大谷中縣に對する旅順官民の法別の離を述べ、大谷中縣の謝離があの離を述べ、大谷中縣の謝離があの都を述べ、大谷中縣の謝離があ

大谷中將送別會

で越ゆ

出席、新役員新運動方針を左の如

鐵道問題を

打合せて

三十二日間東京にるて色々な打 三十二日間東京にるて色々な打 まれてみない、現に角満洲問題 まれてみない、現に角満洲問題 まれてみない、現に角満洲問題 まれてみない、現に角満洲問題

海路は奉天丸で廿日

見は陸路を他の委員及び支那委員一行は海路大連を終て歴天に落合はんとする家につき南京政府に照會中で回答あり次第行の豫宏で出發『北平十七日發』職監調查委員は満州人に關しジュネーザより適宜に随るべしさの睡眠に描した、よつて私家たる大部の委員及び日本委 合せを命ずると共に
覇盧島に在るわが驅逐艦に難しても戦備を命じた、衆天丸によるとすると大
支兩アシスターを交へ協議中である、程内定と同時に且下大連にある泰天丸に對
職艦調整廠の深壓極斑にわかれて入消する他は本日正午最後的確定を見、今は暮ら委員そ

通商妨害等 製」國際聯盟調査駅は明十九日二手に分れ一部は海路大連に向ひ、 一部は南路衛州經由を天に向ふ事に決定し

おけるめらゆる諸問題参考調査といる。東天総領事館が到さなつて満蒙して、 あここ、なった 議式會除催の結果左の三項かあげ に関が害の事質 紙幣濫發による經濟攪亂の事 調查團に提出 での其際的事代を各月順に列撃し

なられる事質ないのでは、海陽餐行に係る放行單に不法をなった。 九二七年以降事變ま 查團 なに民間よりは敵騒のほか窓天虚 、 然民會より 一、居住妨害の事實 であり。

打合せ

を招致も三時間に取り響、内容は 場山に羅文幹、陳紹耀、何等を招致も三時間に取り、東流管、張人傑、 原紹耀、何等を誘

満を急ぐ調

顧維鈞は噂に反して逃げ

蒐めて額糸段に對し

の譲歩點を明らかに、支那さしての最大限度

日本皇室記事の

不獨首腦の會見

軍縮、經濟問題協議

日午前十時より汪精衛、羅文幹等【南京十八日餐】蔣介石は昨十七 依然聯盟に 南京會議決議 

ある時は日本人全體に對する條辱さなる恐れあり重大事な際、日本皇室記事は日本人に對し非常な刺媒な無へ受しても誤り野に日本皇室に関する記事は撒鞭せざる事な命じた、理由は「廣東十八日餐」當市支那官憲は再び布告を養し支那新聞に

掲載を禁止

廣東支那新聞に命令

起する懸念あるがためである

及六時アメリカ國務長官: 1-ング、同外務水電フーケー七日登」ドイツ首

不國との提携可能を說

要求するものと観られてゐる、これに関し日本側は樂殿師見解を抱き長海問題の困難もいづれ圓滿なる解決に郵蓋するものさしてゐる、要求するものと観られてゐる、然しアメリカがロシアの影明に難し来、際の並場は同一なるが、致那郎では經濟委員會の意とさらイースター失いません。 (1) は、極東國境派兵を云々し、臣つ滿洲に難し来、際の並場は同一なる被米 雲提携 可能說を說いてゐる、紹は日本に難する一種のマニューバー(暗形)であり、第三インターナショナル幹部が政府の難目政策を繰りに安協的なりと殿童批判を相く始めた、めださしてゐる、然しアメリカがロシアの影神べる此の手と認が政府の難目政策を繰りに安協的なりと殿童批判を相くがあた、既ら目下當地で活動中の勢態代表部の好き続くさもイースター無明までは満洲に對し終謝を解いてゐるが多れられれば總會の開催をして立る。、然しアメリカがロシアの影神でるかのではおけると説いてゐる、相へ始めた、外ださしてゐる、然しアメリカがロシアの影神でるかの事とに指してる。故来 雲提携 可能說を說いてゐる、加へ始めた、めださしてゐる、然しアメリカがロシアの影神でるかの事とは著書であるまいと映られてゐる、他とアメリカがロシアの影神でるかの事とは著書であるまいと映られてゐる、如今は古日教育とは古田教育とは古田教育と記述を表してゐるが容れられれば總會の開催を表示は古田教育というに自我の表示となる。

聯盟調査園乗用の奉天丸一

領事の召遣す

**武市支那領事** 

更迭要求

強く

こかし共時洋子の手によって、 を蒙古人は乗りかいつた。

民政黨に及ぼす影響・

石に桃窓房長ー

接密製者出入ホールは、一般出一

職場監局の観音を置っ

0

なかつたが こ出て居たら、初めから問題は「滿洲のもつれは瀟洲で解け」

野派の新黨が

何に何でもメイ製過さる。 世よ。人質が取つて、投資を促済機構裁にアメリカ人を任命 長――さダンス電は

能一ない。かば、本常にこも、だから だから だから だいながば子の顔へかいつた。 で……れた、れた、れた」の数の階へ引つ張込んだ。 向ふへ行つて、 遊げやうよ一人

「総いでだよぐづく しない しないでし なければならないとう

しかと何んにも見えなかつた。 だんく 」配管が近づいて來た。 彼好は木の陰へうづくまつた。 彼好の後らか叫がながら、也速 あの部下の蒙古人選が、三、四人 たのやうに走つて行った。

**骨戦交渉成立** を要望 に回訓する事主なつたが、日本さらては十九國委戦會を飛驟せずさの菜里を執る以上報告繋の荷利、不利は軽記する戯にあらずさしび決議の形式について疑義あり、よつて焼粉管房は甕にこの點を明音にした上長端大使の講訓に對し態度を決定し、十八日午前中九國委員會の權限を越ゆるものといはざるを得ず、この點において希提家をなきんさする委戦會の極限問題及む観告祭を決議するは現地における交渉經過の事實報告を總會に提出すべきを任務とする十十個委員會が如何なる機限により位の起き依職突戮の内容そのものに管質能に緊鬱する如き振察をなすかにあり、駅る振製を含むして十九國委員會が如何なる機限により位の起き依職突戮の内容そのものに管質能に緊鬱する如き振察をなすかにあり、駅を振製を含む

して十九國委員會が如何なる機関により行の好き依殿突然の内容そのものにない、その代り平常狀態回復を決定すべき機関例へば混合委員會を現地に

設くる事

を使つて事物を引続き齢官の智 が、三宅参謀長は織本少縣の着性 が、三宅参謀長は織本少縣の着性 が、三宅参謀長は織本少縣の着性

東亞

謎

名に上つた

國

史

插畵 伊

藤

順三

のが、この六ケ月を削除す

、日本政府單獨壁明案中に六ケ月以内に平常狀態の回復を見るを希望もので秘密に附され居るも大艦次の如きものちしい

安覧會の意味さして日文駅岡が成るべく激電の所で解け合い速かに停まる。 日本の立場を述べ、 財前日來のイーマンス、ドラモンド駅氏さ支那代表『ジュネーヴ十七日菱』長岡大使は本日午前ホテルベルグエにおいて郷羅委員會 を樹立せしめるやう本國政府に具申せ震戦というでは、原戦の意味の食見の次第な職職した、イーマンス議長は

▲守中清氏(大連醫院長)十八日入港うすりい丸で編連 ※原信郎氏(関東臘學務課長)家 ※原信郎氏(関東臘學務課長)家 ※原信郎氏(関東臘學務課長)家 ※原信郎氏(関東臘學務課長)家

一下のでは、大小屋を高が出た。 では、でこへ行くれ」 で意に繋をかけられた。 をはまの部下の蒙古人が、数のと

マーッ」 洋子は飛び起きた。 洋子は飛び起きた。 洋子は飛び起きた。 洋子は飛び起きた。 洋子は飛び起きた。 洋子は飛び起きた。 洋子は飛び起きた。 洋子は飛び起きた。

彼女が警戒してゐたのらしかつ

▲井上正明氏(南日東京支社長)同上

「競歩よ」

ちやんが!こ

(山速該か知らり也速該だつたら

もう一般響き渡った。

(やつたな、巴林め、あのお馬鹿・ルの音が一發きこえた。

第一洋子はしばらく耳を溜ました。 (まづ可かつた。……さあこの隙

あてられた。

しかし続口が、蒙古人の脇腹へ

ウイグル人の國守

前田大佐歸國

**停戦會議愈よ徳** 顔代表の悲觀報告により 慣開か

等か議決した、観点度よりの電報 特別委員會に上海事 中国難で、列强代表は執れる四國の公使を斡旋せらめ上海に食器額行か主張して居る 果依然聽

線之助氏(日本樂器監査役)記長)同上

ころひすて、歌き出した。 さ云ひすて、歌き出した。 蒙古人もついて來た。 ぐごうしやう?

で本立なくぐつて起った。 に本立なくぐつて起った。 に本立なくぐつて起った。

等八氏(大阪質業組合聯合学)同上 学ン助氏(大阪質業組合聯合を一氏(大阪質業組合聯合を一氏(大阪質業組合聯合を対して、大阪質業組合聯合を対した。

野縣氏(奉天醫科大學教授)同上野鹽切氏(住友合資顧問)同上野醴切氏(住友合資顧問)同上界吉郎氏(渝駿社員)同上 滿鐵理事〉奉天出張

り態識した、話題は地さして軍総の大きムソン氏を訪問が三十分に正

野鹿で感像問題には触れることなかったといふ、スチムソン氏は風 なり食に或は出席不能かと懸念さ 主教、政友會に保守主教と、 既然において、民政憲に自由。 る意味において、民政憲に自由。

けふの軍縮會

(同じ手で) き決心し

になって来る人数がバラインさ見 をなば背後を振り返って見た。 かって来る人数がバラインさ見

を振り振り一般に走つた。 トルの音が敷養響き、窓壁、心心 トルの音が敷養響き、窓壁、心心 となった。

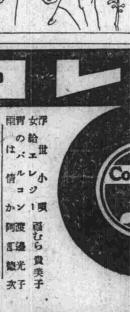
洋樂レコード

帳 柳家金語

大 社 千代子

長谷川玉子





飯二金 島村子 綾定一 分过家 **建** 菊

軽飛 響助 (養茶園の卷) 義經千本櫻 勝段荒猿 太四次之

ペルトラメリ

奥田良三

竹本律太夫

変打の歌舞を見るの歌舞を見る。ジロメツタの歌舞の歌舞の歌舞の歌舞の歌舞

永和

義經千本櫻,

日本の兵隊さん同年の兵隊さん同

五月

C-33

思ひ出の軍歌集 戸山場校軍祭献 

道化師の朝の頃 ベーシー 三重奏曲第五番 ベルトララム指揮 ボルトゥール指揮 ボルトゥール 耳と眼による コロムビア音楽史 コロムビア音楽史 いさ下合承御てつよにグロタカは細洋の曲十數他其

の関心を持たれて來た、即ち大連 原内院座敷製者のホール閉鎖を輸ごたり 選したりする環膜が針を殺でれ り選したりする環膜が針を殺でれ り選したりする環膜が針を殺でれ の関心を持たれて來た、即ち大連 が大変のホール閉鎖を輸ごたり である。

彈壓の逢廓は皆許主義により

検番は組合へ許可

血書の日章旗飜る

爆藥裝置中や發見

【ハルピン特體十八日韓』東支鐵道管理局への報告によれば十六日午前四時ハルピンた数して手手へ に関ったわが天野○鷹の軍用州車通過に際してまた/ 蝦や部畫をならたものである、社民天野○鷹 が名総路上に入るた認めた、かれらは右巡視人を取り園み危害を加へんさらたので逃げ除り塵路車に 数名総路上に入るた認めた、かれらは右巡視人を取り園み危害を加へんさらたので逃げ除り塵路車に 数名総路上に入るた認めた、かれらは右巡視人を取り園み危害を加へんさらたので逃げ除り塵路車に 数名総路上に入るた認めた、かれらは右巡視人を取り園み危害を加へんさらたので逃げ除り塵路車に 数名総路上に入るた認めた、かれらは右巡視人を取り園み危害を加へんさらたので逃げ除り塵路車に 数名総路上に入るた認めた、かれらは右巡視人を取り園み危害を加へんさらたので逃げ除り塵路車に 数名によれば十六日午前四時ハルピンた数してチチハ

で観惑中であるさ『長春餐』 を食てた者あつたがおは兵師の仕たさ見られ幸び響倫兵のため未然に發見され附近一帯は日満緑草 古り教徒後道に爆奏を製造しの爆奏の解当内に爆奏を製造し隧道の解

性の変いで、ついて午前九時中に 「はなる感謝さた情報で美しい園 民性の変いで、ついて午前九時中 に爆養する様な上陸部隊の萬歳が に爆養する様な上陸部隊の萬歳が に爆養する様な上陸部隊の萬歳が

春・賑かな

知名士を満載したうすり

なられん事を希望しこれに對し安

第八師團の勇士上陸

郁市計畫から 大連の都市計畫打合せに 京大武井博士來る 結婚ロマン

が見り、東で水連サロンで

世 四時権選入港の英神織ランプラ號 世 四時権選入港の英神織ランプラ號 日 使アイコ氏は大人同伴十七日午後

夫の捜査師市内岩代町

西國公使來朝

東氏着任

ればそうするのが好いさればそうするのが好いさればそうするのである新首都新京ないのである新首都新京ないのである新首都新京ないが出ている。



六十九名來る

春のピクニックにも 毎日の御食膳にも

窓のうすりい地で専門學

娘の家出市内但馬町士

校以上率業の満銭新入社員六十九、 を成り上率業の満銭新入社員六十九、

**初學務課長** 

ご方馴染客天野某に誘拐され足抜 性抱酌婦秀丸こさ魚約秀子(二一) は去る一日酌婦保業の許可な受け は去る一日酌婦保業の許可な受け であるに十六日午前十時

旅大 順速 谷地温度 一〇、七 天氣陰

てゐる

が、十八日入港うすりいのエピソートが覚聴され

**上時間** 

性部隊の

全成一同都統の歌歌書に大連ないる名称に正式象響、神に正式象響、神神歌語に大連

けふの小

戀

愛線

ABC

征伐

の學務課長に低命された数とり接撒されて新た

魁け 長官々邸の二株綻ぶ た旅順 の櫻

機能に満くない。 見學して残ったが一行中無疑院職 の者は高鐵環身寮にそれた、滿 他の者は高鐵環身寮にそれた、滿

家庭に居ながら

の音信を解ふるもが、好傷の高いである
の音信を解ふるもが、好傷の高いである
の智能に競はれたか一粒叉一粒ほころび初めが類には早五の智能に競はれたか一粒叉一粒ほころび初めが類には早五の智能に競はれたか一粒叉一粒ほころび初めが類には早五の智能に数なを換りに到るもまだ初映きの便りに接せねに

滿鐵入社の

運動選手

丸で桂子夫人並に令息合城同学來任語る 本年滿郷に入社を希望した内地で 名を知られた運動選手は相當の数 に上るが現在までに決定した氏名 トンバーワン艦田教育氏も決定した氏名

標岸直治(京都帝大)櫻井修〈明・本將〉田中申一〈東京帝大下M〉 橋爪良一(神戸商大三壘

藤川選手來る 手さして鳴らした際川歌のうすりい丸で横濱高

東京の内藤さんが心配して下されたのですが私は前側に入りた水たのですが私は何も知りま

小殿東京寫眞學校 小殿東京寫眞學校

同じく高等課長同じく高等課長同じく高等課長 国中貨一博士、国中貨一人の軍部の第一人

一格姬結婚式 

ロン

話

キューニー

マヨネーズ

得箱、灰物箱、菓子箱 骨箱、灰物箱、菓子箱 机、杉製造業

かぜに まむし 実が に要む に要む に要む に要む に要む に要む に要な人、冷え性、特に弱 がはを引き易い腺病質 に要む

(錦雞小學校正門前)東京神田區表核樂町

大連市天神町八へ 店店 店

中京 電気研究 はかける 大橋 大電気研究 は 大きになる からになる 大きになる からになる からにな

日本で始めて一説明された!

神甲附け次第多少に不拘ず直接問属け 大連市加賀町四八 午

か見た旨御記入御申込次第進早 下

會 松田

湊病院長<br />
湊病院長<br />
湊病院長<br />
湊議治先生創

講習會

粉おしろいは其の香り床しくフキも良く 白·淡紅·黃色·肌色。

pompeian

ノビも好く艶々しくお肌の難質な増す理想的な粉お マツサージクリーム デ ー(書)クリーム ナイト(夜)クリーム ローズクリーム水 お じ ろ い 日 紅・タ ル ク

性慾の赤字補 充に 

行 洋 第 日 一四通裏目丁二町速濱市連大 電話(327)・7685 ・連續街銀車通過 

h そく治療

**常松尾外仙庵堂** 

ませられまむしや

**産婆** 「川 (神) (神)

急癒軟膏 五拾後、壹圓、送料滿鮮金拾五錢温馨さ共に二馨是非お備へ置きを温馨さ共に二馨是非お備へ置きを温馨さ共に二馨是非お備へ置きを

刀を背眼につけるで同時に、始 「えいツ」

四段 4 樋口 養雄

戰一共九

產

優

秀

無味・無臭・副作用なく・習慣性なし

小宮主演川浪監督で

膝栗毛

新興滿洲國を紹介

大連権若線薬會では來る二十

病の

銚子醬油株式會社

追ひ縋るやうな断餓の氣合。 女優歌舞伎

花柳春幸 廿日から大劇

である の海」真採羅か来週上映▲常盤座かはいらつしやいく、中央映画 はこの頭明け

八畜無害の イマツ蠅取粉に限る 本舗 今津化學研究所

産婦

入院の應需

婦人の病は婦人の手で

南京虫

萬

(可認物便繁殖三第)

(119)

賞されます を使用さを 野様は 飛びつきます ヒゲタの

特に匈婦人のおいでな歓迎します おいで下さい

**福牌軍手卸賣** 山本洋行

進 院

節は何時でも 淡尿器科 皮膚梅毒

小杉 喬一 社 授 見 見

渝

清物 問屋 會社若山高店共出張所 大連市山縣通七番地 大連市山縣通七番地 の染血 開公日四十

KATOL

常 盤四

廖

0

先代萩



に秘便習常 ラキサトールは…… 家庭に、旅行に、應念 を便利なり。

・倦怠・眩暈・嘔吐・食慾不振・蕁麻疹・顔面腫物等、種々の障起し、その毒素の腐内壁より血液中に移行することに因り敷日に亘り便通なき時は、腐内に異狀醱酵、瓦斯發生等を 來たすこと多し。 回の便通は健康人の常態なり。

労剤の利用により常に便通に注意せらるべし。燃人は殊に常習性便秘の傾向ある故本剤の如き安全確實なる

をとなった。 排使時腹痛等動く、排使連用するも智度性なく、無味、無臭にし連用するも智度性なく、無味、無臭にし常も乃至で時間後に軟便を排泄す。

空の大統領

理チャップリンの 環は微笑の哲人が説く泣き笑い の人生観・アリンの 原は微笑の哲人が説く泣き笑い の人生観・アリンの では、一大進軍 での大き活動の大喜活動 では、アンクスの大場等は では、アンクスの大場を では、アンクスの大場を では、アンクスの大場を では、アンクスの大場を では、アンクスの大場を では、アンクスの大場が では、アンクスのかでは、アンクスのかで では、アンクスのかでは、アンクスのかで では、アンクスのかでは、アンクスのかで では、アンクスのかで では、アンクな では、アンクな

育物●常盤座

二國五十錢 發刺藥價

株式會社

支店 東京市日本橋區伊勢町社 塩野 義 商店

イゼ回

一冊等屋

一 と リニ 日間

た

D

活

六日よりお涙頂戴湯

郷 後活の郷備中である。若標市に本 大連 四地間の定郷織路新騰を訳 大連支店 がため大連支店

栃木商事

當地保合

各社の競争漸く熾烈

時が來るかも知れない。

高、梁 二九二〇 二九四〇 出來高 五車包 来 二九五〇 三〇〇〇 出來高 五車 定期喰合高(廿六山) 定期喰合高(廿六山) 市日對比較 有 五三七四八五百箱 二七六〇千枚 二七千枚 豆和二七六〇千枚 二七千枚 豆和二七六〇千枚 二七千枚 三角柱生產高(十八日) 五种生產高(十八日) 五种生產高(十八日) 五种生產高(十八日)

入港っすりい丸で水連したが船中内外橋栽が岡田郷太郎氏は十八日

岡田內外棉專務談

働きたひ

改組案

明日委員會諮問

引上率如何では

直ちに反對

內地農産物輸入關稅引上と

在滿特產業者の意嚮

合せか遂げた

六年度は三十萬圓減

**評議員** 

合

物。棉

東京期米 東京期米 東京期米 開門 計画 計劃 前場 前場

(四)

前週に於ける市況

東君はこの方配に多大の興味をも 東君はこの方配に多大の興味をも 大型に即待をもつてその成行を注 でであるが殊に機械級物類製造 が発に機械級物類製造

四合印域)

取扱高 前年對比

10年124 年 11750 日 11750 4 11750 4 11750 4 11750 4 11750 4 11750 5 7 7 11750 7 11750 7

・ 中朝の定期は大豆は銀價の反落と ・ 東地高に昇騰を辿り豆粕は南支買 ・ で強調を早し豆油、高粱は保合を ・ 辿つだ

田 今朝大豆は銀質のごようだ▲豆然のも相當質つたようだ▲豆を辿っためて一氣に上伸昂騰を辿っためて一氣に上伸昂騰を辿っためて一気に上伸昂騰を辿っため、

大豆

與地高で 昻騰

特

**混**(大山

小 計 会 示

關稅と幣制とが

先づ確定せねば

三氏來連語る

全鮮銀 平 00九回00後 平 00九回00後 平 1至1回2後 平 1至1回2後

行休業 

取

51

一圓三十錢

二十六圓七十段

(弱保合)

大陸党業組合職合會融會長早職祭 今地左一の三氏は大阪商工會議所 學批清学庭製砂等が、同書記長 今地左一の三氏は大阪商工會議所 機配清製庭製砂等が、同書記長 大阪質業家が最も力を入れてあた上海方面での取引さが事件物 をは少中ンにて語る 大阪質業家が最も力を入れてるた上海方面での取引さば商業が最も対を入れてるた上海方面での取引さが事件物 をはない、従って富然大阪方面で で来、関西質業家が最も力を入れてるた上海方面での取引さば商業が一直といるのとなって電然大阪方面で で来、関西質業家の講業をはず ばらこいものさなつて來ましたが三 然こ従來除り取引がなかつた土土

正定 田來不申 期 二 商额形計 出來

来高(十六 u) 来高(十六 u) 来高(十六 u) 来高(十六 u) 水高(十六 u) 水高(十六 u) 水高(十六 u) 水高(十六 u) 水高(十六 u) 水高(十六 u) 



三羊商行へ

大学市加賀町三〇 大学市加賀町三〇

大連汽船株式會社 電話代表番號四一八五衛 電話代表番號四一八五衛 電話七二七五。七八六八 電話二二七五。七八六八 電話二二五。七八六八 電話四五二六五。七八六八 電話國五二六五。七八六八

大 九公公 西宝8引

大・ ・ 東・ ・ 大・ ・ 大・ ・ 東・ ・ 大・ ・ 大・ ・ 東・ ・ 大・ ・ ・ 大・ ・ ・ ・ 大・ ・ 章 大学次 さ 11 (1を3号 ) 1 大連伊勢町案內所(電土五五 海河口出張所(電土五五 海河口出張所(電土五五 海河口出張所(電土五五 秦 天 案內所(電二五五 秦 案 內所(電二五五 全 資 案 內所(電二五五 大連市伊勢町電三九 大連市伊勢町電三九 大連市伊勢町電三九 大連市伊勢町電三九 大連市伊勢町電三九 ||日清汽船|||出帆

で、100m、か天、人0 1回、100m、か天、人0

月限 一八二九 三百三十 個

三三三二九九一四五九 \$\$\$\$\$\$

村 ()

敦 豐豐 賀 岡橋 丸 丸丸

12 1111

三一十十七五

2,074.8 2.111.9 79.984.7 21.716.2 7.531.7 3.177.7 1.185.2 2787.7 1.410.5 1.265.6 25.9 1.091.5 2.035.0 423.4 44.0 575.4 184.0 3.841.1 371.4 4.975.4 4.835.7 7.467.7 8.233.0

2,528,8 371.418.0 298,056,2

9.658.8

204.502.8

2.772.0 781.4

13.572.6

來期近

白眉豆

亞爾爾豆醇

麥鴻

粕

油

ät

2.633.9 1,699,4 24.938.8 103.864.6 1.806.1 1.055.9 75.1 654.5 1.978.0 2.930.6

5,425.9 7.915.7

1,046.0

2,543,1

子 5.635.0

一

二羊商行

東三**鹿兩舞港海朝蘇**黎港北朝

鈔柄☆前

但し最後的認定は日本で とする

我政府の囘訓內容

技術本部御成 高くドラモンド事務機長の如きもが最近日支間駆に繋する態度は極が最近日支間駆に繋する態度は極 公然攻撃の標的さなつてゐる一方

曾議再開まで

一週間位はかゝらう

十八日光率外極に左の諸 変良會の決議案に關し長 率成會の決議案に關し長 軍獨聯明案を削除しランズソン 再開繼續で 再開繼續で 再開繼續で 再開繼續で

長岡大使から請訓

支那外交部の態度 交部當局は十七日深更左の如く記

聯盟の決議を頼む

旨を寄せ満蒙の

十七日上海到着

御邦人に暴行

水兵が

我方より抗議的警告

救濟費削減 (領事に黙し抗診的感告を養する事としたり軽く事なきを得たが、我領事で表しましたが、我領事では、我領事で表しましたが、我領事である事である。 さなった

コイ将軍らは陸路

内務省増額要求せん 社會藥毒本日

團體

卿らと會談

日本側民間

書館小城龍雄氏は一十七日天津丸にて獅子夫人同性大一 小坂関東長官秘書官語る

架設料值下 東京市內電話 

この他下りで監架者は悲鳴を擧げ が決定した、昨年は九百圓、 が決定した、昨年は九百圓、 船客 バイカル丸

大衆黨へも

「内村鑑三全集」出づ。彼の名は日本に

費すべからず。

…ラスキン…

書を讀むために空

人は之を價値なき

少なり、然れば吾

其靜かなる時は僅 人生はいと短く、

於てよりも、

歐米に於て却て有名であ

此人ありしを知らずして恥づる處ない

てあらうか。彼を單に基督教の宣傳者

る。われら日本人は、その同心の中に

### 阿片中 奉天にて 佐藤熊男 2

が、悪く先既に終った。激戦の枕が、悪く先既に終った。激戦の枕にの歌城を賦行しやうさした

洪等相の反對を彼が明朝のたからである。一部の歴史 部の歴史家

聯盟の態度軟弱で

ラモンド總長を非難

來源代の天子で、阿允蒙

窓に道光二十

中なの心理は、普通人の不可除されたとしての阿片に 能行動と不可燃至板な點が多々存 する所であるやうに、中國の國家 如何にも誇大な言葉のやうである。これは るのである。(つづく)

製して心からなる送別の辭を呈 りやらればなられさ私の前途に 北魏國草創の際こそ餘程しつか 此魏國草創の際こそ餘程しつか 顧の入滿を 章炳麟が要請

は日本の役人を石に整へれば支那つとしては一大の役人を石に整へれば支那一つ足下に依つて其の正否を證明に云ふが 電に繋す神織此の上もない日本人ではない一死以て繋目態度の方向。 変な観は昨日隔で一書を解練的に 変なではない一死以て繋目態度の方向。 ではない一死以て繋目態度の方向。 ではない一死以て繋目態度の方向。 を明かにし聴撃の経験を啓けば中

黨へ参加勸誘

對日交渉難から

羅外交部長 辭表提出

家そのものが、職際能に一大阿比は、國民の全部が中海者の集劇たる國 前十時大連解機のうすりい気にて 年後十時三十分級腕繋登二十日午 を禁制会管大谷一男中將は十九日 を禁制会管大谷一男中將は十九日 來る廿日離滿

大谷中將は

あるさされてゐる

悪して居つた

し、國民にこ

の市事六十四被中三十四被が資格のおが、これが管理の境は現在のを設定の神警様終な確定する事さなつ

尋檢制度な擴張し

### ルイルビン 養然口 (回覧格の を送に 歌 ) ペルビン 養然口 (回覧格の を送に 歌 ) かった と かった の が ( の ) が

の偉大なる、

高貴なる資玉があつたか

は何を語るか。彼の中に、他になき所

として其の威化全國に及ぶに至りし事

らでなくてはならぬ。今や其の全集出

れた彼が、遂に日本的基督教の創始者

たび亂臣賊子として日本民族に斥けら

偉大なる「日本人」である。

四十年前

彼は日本の産んだ靈界の巨人であり、

會主義の唱導者として見るは足らない

聖書研究者として、

或は無教

北滿粕南下で

| 大文部名管殿部間に際に意見一を歌し上級學校邀學の途を覧くべき

案の内容

申込金一圏(最終回に充つ)

静教新新新舊舊初初期 養養約約約約約阿若 研研研研研研查 實完完完完完完作 (上) (下) (上) (下) (上) (下) (上) B 雜日

記記文文演輸篇印出印出事想感问

自信を以つて世に送り出すものである

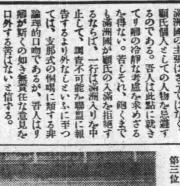
向つて誇るべき古典の一として満腔の

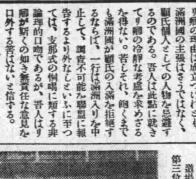
われらは之を日本が永久に世界に

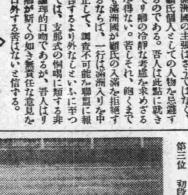
3.

此の世界的人物を新に發見すべきであ

日本人はその同胞の中より出でし







米で覇権に早、慶、明、法、帝の今春は昨秋の優勝チーム立教の渡

籃球リ

日(十七日)

五一三十二十

大連商業

ある『長春電話』

大豆軟調

春耕資金貸付

州學校開

協讀育聯

米國大豆の進出に

脅威さ

れる滿洲大豆

盟設立

加藤 村吉丸第1—8

**千九百二十六磅低速の契約**たな ・ おり、これに對しては毎月一萬

ほ約百二十萬磅あり

M C A 30

午後の成績

1-3 加碳 (優退戦) 1-3 加碳 (優退戦)

1水 ある 上の目的な達成な

既に大量の大豆が取引されてゐる

の主要消費園さして浦州よりその は大豆の栽培を開始しその成績版 に大豆の栽培を開始しその成績版 に大豆の栽培を開始しその成績版 を関係にて値か一二年間に生産は が、更に本年は生産増加して外園

本社後援體育堂主催のPA草球大

奉山線

對英債務

百萬圓の支拂を了す

殘餘千二百萬圓も毎月

**共和間のである。** にはつてなる報報 の低

諮問部豫算 奉天省公署

運動場において安藤 (お歌) 郷、 南南江戦野遊順千歳俱樂部のラグ

古西綱松兒佐加大 TB

世の際行者で表に十八日午前七時 他の際行者で表に十八日午前七時 長春巻、ヤマトホテルに入つたが 日下局長は 時別の用件ではない、長官が奉 天以北は未だ職祭して居られて

山岡長官 北滿巡視

千歲力闘空し

南滿工専勝つ

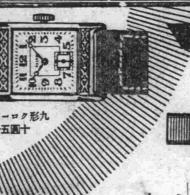
雨中のラグビー

な歌の音響を無て響察では だの通りであるがこれが支出は が 方の通りであるがこれが支出は が うれまで三月の計上費は 本式も整備されて思い止まる事はでた を動作の対象をでは、 を動作の対象をできる。 を動作の対象をできる。 を動作の対象をできる。 を動作の対象をできる。 を動作の対象をできる。 を対象をできる。 をできる。 をでをできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。

今定期後場(単位は) 等付高値安値大引 選 期 90至 411 4 900 40至 出来高 百四十萬個 で現物後場(単位は) 銀對金 銀對洋 金對洋 一時半 40至 1140 1六宝 二時半 40年 1140 1六宝 1164 1140 1六宝

綿糸檀落

大豆 裸物四七三〇四八〇〇 大豆 裸物四七三〇四七〇〇 大豆 裸物四七三〇四七〇〇 大豆 裸物四七三〇四七〇〇 出來高 二十車 出來高 二十車 出來高 二十車 出來高 二十車 一五八五 出來高 二千枚





九形セイコー 八形セイコー 三十五四ヨリ 十四五十鏡ョリ 十 九 四三リ

全國時計店にて 東京本所太平町四丁目

拾壹萬六千圓也

五等景品(置時計)一個を贈上げを同時に抽篑券一枚を 上げを同時に抽篑券一枚を

當 限 生

即ち四割三分の減額を示して居ります 輸入激減

九00,00

の如くであります。 m 和 大年 貳百四拾七萬圓 明和 大年 貳百四拾七萬圓

事實に即した 解決法を採れ 解決法を採れ

戦績を得て

七日の春季劍道大會成績

環通にさつての無上な 続しみさな

現大を想ふ魔に先づ第一に考へる のは投手伊達の事である。

問題ご調查團

y

ルギュラーを送り出すさいふ恋運 ルギュラーを送り出すさいふ恋運 ルギュラーを送り出すさいふ恋運

内地の暴落に 當市も落調

に今春の観びを献さなる。 につきある。 につきある。

早大と明

五大學で難はれる事になった。 五大學で難はれる事になった。

想し期待とつい五大學チームを見

新人によつて他のポジションを埋した。 お歌に遊繁真野を残すのみで盡く

國 用

一四五、四〇

產愛

無難なのは

に解棄が潜んでるたり、前の病。

少年よみもの

をいってした。
「どうかなされたか」
「だっかなされたか」
「だっかなされたか」
「だっかなされたか」
「だっかなされたか」
「に、思はれました。お父さんの
にいのでした。
「ないから自分な唸ってゞもゐるや
にいのでした。
「ないから自分な唸ってゞもゐるや
にいのでした。
「ないから自分な唸ってゞもゐるや
にいのでした。

はいます、その主な原となります。その主な原となります。かつているで、一般のでは、

く も見てゐる中に優えてしまれば他の字も覺えるやうになるもれ出し色々の物を見せ實物さ名 解を一緒に数へてやります、斯特を一緒に数へてやります。斯特を一緒に数へてやります。斯特を一緒に数へてやります。新りずるうちに自然色々のここを別知る事になります。今を知られば、

流産が多くなる

山登り海水浴前の注意

產婦人科專門醫

岩男其二郎氏談

な俗したり急遽な運動なしたりない。

春へかけての家庭衛生 区

# 頭から足の爪先まで

殿方も『鼠』が全盛 の 安物でも調和した物を

選ぶことです

でする。 でも調和のされないものは野暑く でも調和のされないものない物でも では、こが服職の秘訣でせう(歴) でも調和のされないものない物でも

た字が、三字のもの、五字のもの 二十三字のもの、二十五字のもの 二十六字のもの、二十五字のもの てるます、これにつき政本だ性は である。

海洋原

ひしやき器 天火代用の

中国 路及野和 に於ても他の見童におくれるものでこれから見童におくれるものでこれから見童

本の概から端まで新しい生命が腰部でで、温水を浴びることが出来ます。これで、 一の概から端まで新しい生命が腰部です。 一のですな好らかな幅々したなに、 一のですな好らかな幅々したないで、 一のですな好らかな幅々したなない。 一点がすつかり深ひ出されてどんなに、 ではい温々したなかのやうにぶられてどんなに、 ががすつかり深ひ出されてどんなに、 ががすつかり深ひ出されてどんなに、 ががすつかり深ひ出されて手機ができますが、あまり脚々で、この場合には最後のは、 たいかにして戦戦でしてなかのは、 たいかにして戦戦でればよいので、 たいかにして戦戦でればよいので、 まず、のは、 本には、 本には、 を対しますが、。 まりますが、。 まりますが、。 まりります。 この場合には最後のは、 たいかにして戦戦でればよいので、 ないで、 でありますがることはやめて充分ある。 ないで、 でありますが、。 ないでは、 ないでも、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないでは、 ないで、 ないで、

きつと貴女は 若返るでせう 中年の方にお薦めしたい

二週間一回の發汗浴

路田

雨覆

喪復

製作販売

たて御申込の支援の必ず新聞 心ず新聞名記入 百五十頁

をんの今の緑控がごうしたのか妙 に解け離い識の様に思はれました でもしたやうな緑接になりました を感が感び合つてるた時の自分の でもしたやうな緑接になりました 

健康法

八下に推獎する。 とを捧げぬ自らの體験と無數の實例 信頼を掛けられんことを非ず、アルスの名に於ていまず、虚偽に非ず、

人大行力を微は 類光詰な排温こ を明れるし的れ ひ得る絕對健康の新福音のを與ふるものはこれだ! 新醫學はこれだ! て直接病源を掃蕩する强 の大烽火を投じたるもの得ざる現代醫學に對し突

產國良優农代 各種參考書出版 学生向新 版替大阪一〇三五番 駸 Z 「新型蜂無代遊星」 堂 書 ¥ 1.50 at

中等學校各重虎の卷目錄

(送料壹銭五厘) 原上內壹實業之日本 世界ギャング物盃

◆客職病糖尿病達於小便魚査法(職場出) 本体 病認與最新療法(職場出) 病療法(職場出) 東京 (職員出) 東京 (職員工) 東

新入社員心得十二菱の陣営改革

◇勸業債券當籤番號發表…| · 校式利 殖利 植士 一 大 大 利 相 談

製造發賣元 會合社名 名古屋市中區古澤町四 田

至急御申込を乞ふ

並に型録

主义本館 細沼 株式會



軍

\*

0

\*

官民を網羅した

H

大市民會を建設する 金州市民會の甦生策

の鎌定)この参加人員は日本館か **大質意を表し稀に見る親和的の** 二小學校長單繁道氏の顔も見え 恩務課長林然が氏並に安東慰 定(會場は六道満大トラック あった、開催しば五二

は十五日相談へて満洲側の王 成し種々の具體家につき 中 へて約二千五百人で見られてある。運動會 でからザット五千人である。運動會 れてゐる 側こ同様略決定が見た模様である から今から當日の盛観さが想像さ 双方の會合を見る器であるが競技をな見てぬない所から今一應日滿 全市を飲ることいなって 幹事、係長その他役員の決たゞ本會の駐問、會長、副

お巡さん代りに

明い街燈を増設 春を取締る安東署

の完成で支那側は非常に悪まれるる事になつてゐる、此の通信機関

本 『安東』張込み勝らななの生活か | 十四派出所管内で約百二十五節である今日この頃、鏡河山の櫻がふ | 恵地方事物所でも此の環境問題につくらさ處女の乳房のやうな腿み | 就いて目下 具際薬を 考察中であたおびるまでにはもう間もないが | るが | るが | るが | るが | るが | ままりつく | ままがきがあらばれた、それで唱かおびるまでにはもう間もないが | るが | ままり | 電現の 可能性充分あるも 電源真が競見ら識がすると失應に 影響ではが競りに影響が不動な一支那人を 影響のた際影動や動な一支那人を 列車から 飛降り逮捕

沿線荒しの賊

を のさ見られ、明るい所を嫌がる人 間の本能を利用してお巡りさんの には常規を送したがる人間実をて には常規を送したがる人間実をて には常規を送したがる人間実をて 人だにはチト迷惑か知れわが、夜

救ひの手から

柳暗の淵

橋本あきの途ひに

は、の安東を明るくする事はさういふと、人方にはチージョン 般から歓迎されてゐる

林大八少將 奉天で執行

『奉天』上海城職に於て名譽の戦 やた途げた様大八少勝の追悼會は 十七日午後二時から表天公會堂に 然で佛式により執行された、参會 者は軍部から本庄軍司令官、三宅 者は軍部から本庄軍司令官、三宅 【秦天』温かい同情の敷ひもその 捨て難身家天に乗り思ひ歸つた末に 上流者のドン底に喘ぐ一家を救は し返源すればきの間似めが難に 機がため解父この情景を生じしかもぶ るが、其後素天響でも彼女が難に はんがため解父この情景を一身に資 仕事をと考へてゐた丁度その時彼に ふてこれを傾のととこほりなく支 好が正に苦髪へ身を洩めんさして しんがため解父この情景を一身に資 仕事をと考へてゐた丁度その時彼はんがため るる記事を見て遊く是俗の長曦駅

本あきのごうに職職で女総商官をした長崎縣南高楽部深で村生れば

い現在の世の中にこれは又魔

世の中にこれは又滅の通

【金州】諸宣衞、會社等を有とし とを民政署で認答今日に至つても 明會では會鰥に佐り從來支那人側 上の問題もあるので、日本人會長 所會では會鰥に佐り從來支那人側 上の問題もあるので、日本人會長 所會では會鰥に佐り從來支那人側 上の問題もあるので、日本人會長 の自治に委れられてゐたが數年前 か或は名譽會長管理の聲が探賦するに至って、 日本人市民側の希望を容れ加世田 るに至った、民政署管局さしても をなるが、此の問題をあるので、日本人會長 金州會に邦人の 會長又は名譽會長を 柳宮考慮してゐる模様 ・ 理応大八に前借十三百里 \*\*\* つた、しかし彼女には一時館の教 同情の紹介があ

發展策が今や癌

中矛盾、債務者の責任感

撫順不動產會社

年約四萬三十圓餘の收益があった。質に支険なきのみならず、質に

得るさ同時に特に議順数後の敦田

の開保でその後 の開保でその後

を 上の三脈がその記がその記述する。 

期生代表の形論 煙臺炭礦の が調べ中である

(四)

差押へ事件 代表の言ひ方

電子入新城子附近支那部落氏は 動い來順版の横行盛なるが日本信 動との間に何等通信の連絡機關な く之が脅め支那部落氏は數々呼吸 の連絡機関な 本多氏は事性の異様につき左の姫 標潔芸劇以の所有する鑑雅炭験に 格まる事性に関し様な中の滅氏の 格まる事性に関し様な中の滅氏の 格まる事性に関し様な中の滅氏の に表

七

ら小學四年以上全部、中等學校も 電、生徒合して約四千、それに先 では、生徒合して約四千、それに先 が、生徒合して約四千、それに先 が、生徒合して約四千、それに先 が、生徒合して約四千、それに先

材の販賣單價

電気房店 後駆射 政局に於ては高います。 の事に決定せるもまだ戦争に登り でりらが今回愈々税率を養布し替 でりらが今回愈々税率を養布し替 でりらが今回愈々税率を養布し替 でりらが今回愈々税率を養布し替

所あつたが現下の木材砂泥砂に金 たなと係與各六名を置く事にもた 三月八日安東木砂総合に通知する 邦里 の二ケ處に十四日より新設 東方接集地)研察甸(瓦原店南一駅電車の側を乗り金融は(瓦原店南) る事になり整備り金融店(瓦原店

邦里)の二ケ處に十四日より新設を事になり差離り金麗店(延原店第一

日滿聯合大運動會

終了後全員市中行進

日安東でも

は悉く昭和六年十一月一日改定単 で表の一割増さするさ

徴収を開始

新城子

0

かけ て念じだりしく つれなき女にて心のそこよりい

吉洞峪で農耕

が二十一日六時五十四分、九時二 十四分の臨時列車にて何れも金州 女子

二名入用

宋廣美粧院

学衣 紫 機械用

商買

奥地駐荷の勇士を交代する我が勇 士は十九日午後六時五十四分およ

交代兵の通過

**勤** 以上地方住居者可凝麼書 以上地方住居者可凝麼書

貸衣 窓 山藤町 三浦田

少女舞踊圏 目下大連窓 り全州小學校談室に放て職談する ここゝなつたが會費は大人三十後 子熊及學生は平額であるこ

本 中服 類様性込具智事集本人来談名人用住込み希望 ・ 大会 さん数名人用住込み希望 ・ 大きょり甘暖弦が ・ 大きょり甘暖なり ・ 大きょり甘暖なり ・ 大きょり甘暖なり ・ 大きょり甘暖なり ・ 大きょり甘暖なり ・ 大きょり甘暖なり ・ 大きょり甘暖なり

ビアノ整領教授

新義州府内戦人在志間に於ては見て 重の咸墨心を構設せらむるため第 走中であつたが戦に一萬城千個の 走中であつたが戦に一萬城千個の

校設立運動 新義州普通學

で軽けて公然を で軽けて公然を で変けて公然を で変けて公然を で変する。 でする。 でる。 でする。 北

今

年はまア默認

、だけた旅順署の方針

奉天の乞食狩

料花

春雨の日曜

化見の鳴り物

大八から静子と名乗つて出る 押寄せ来る者多 行からが風紀を さの限り人通り 種々の関係

職三日來指つといた磁動の膨脹した。よくらんだ君の暫と離れるに大にふくらんだ君の暫と離れるに大にふくらんだ君の暫と離れるに大にふくらんだ君の暫きを現出する事で、大にふくらんだ君の暫とかれる。

に大正公園に らの好奇心をそ 登見属出に依り殿軍警派中である 野より一邦里や西方の海岸田家護 手の神合に一隻の海賊艦を瀬夫が 一野の東京都を瀬夫が 【奉天】 本天器では防火、監験防 市に買り乞食狩な行ったが六十四 者の収穫のり一應取調べな終へ公 名の収穫のも一應取調べな終へ公 海賊船が遊弋 本溪湖

**返策** 器されての附近から 大田早朝安東 歌について警官の 大田早朝安東 歌が東 歌が東 歌が東 歌が東 歌が東 歌が東 歌が東 歌が東 兩中隊歡送迎

渾水泡

年前六時三十分養運輸電車に便乗 日部数に至り、排作地の交渉を登 日部数に至り、排作地の交渉を登 度部数に至り、排作地の交渉を登 度 を であるが二、三日は徹花の見込みす 前 である 實業青年團役員會 金

发室 全科四個以上各種 電話六六五〇番 衛 前 非

理動會

中風 特別 一中風 一大連沙河口大正道八五 一大連沙河口大正道八五 一三共命會 大連沙河口大正道八五 三共命會 大連沙河口大正道八五 三共命會 大連沙河口大正道八五 三共命會 大連沙河口大正道八五 三共命會 大連別場隣接 (1) 場際権権の妙楽順氣湯解報 (1) 大正道八五 三共命會 (1) 大正道八五 三十五 (1) 大正道八五 三十五 (1) 大正道八五 (1) 吉野別一覧図 青

大連市吉野町六電六三一

京連川二〇一番電車伊留所 西家 お灸家 ハリ灸専門療院 信濃町市場正門前(木村主舞) ホネ ッギ岩俠町二三二 山田行正(電三七八九) 西公園町六九 電新八二〇三番 

を連大江町四盟貨幣出八六七九年 大連大江町四盟貨幣出八六七九年 対。入院質費。 太田家畜病院 太田家畜病院

切に手ほどき数ます

來 能 號 電七六九一番來 能 號 電七六九一番

全融 信用資利資金有更電話立
中央領別地後別人 智二一公園
「信用資利資金有更電話」
中央領領一丁目二一四 田中
で出す。金融領質は同と云つても
で出す。金融領質は同と云つても
で出す。
で出す。
では、大名の

の 
現け五風特約店 一具十五風特約店

話

三河町池内電話八六

牛乳除式會附龍四五三七

古本高價買入、

日余大





浦

亚

記

た

新

確

立

12

な毒胎兒小

梅毒の眞

慢性梅毒が

六〇六號で癒らぬ譯

また成ろ具者が一般伝際児に就 て 無なくさらのはあるまい。

白發百中屹

この効果、

期命革

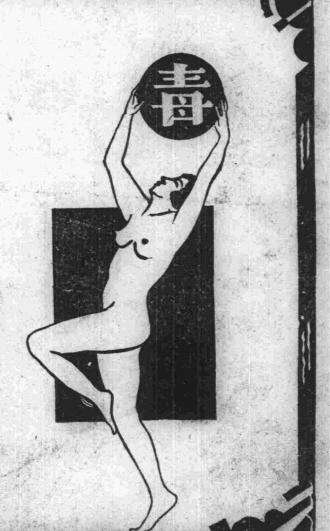
際法の職的を見たのである

ならず、この「六〇六號」や水銀

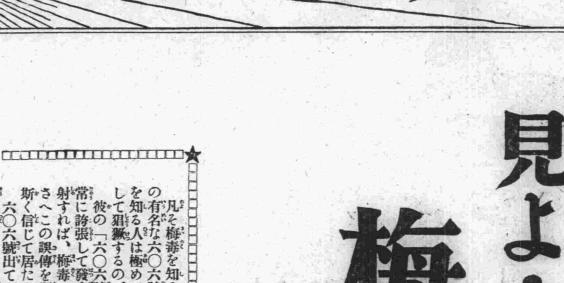
母掃丸本舗

山崎 日本賣藥會社支店 東京市神田花房町 帝 國

依つ 面



FE



沃素療 法の

症用毒掃丸

の定評ある

開かる

物で深める都人がないと言ひ得るか物にはロマネキンに他の個かはあるまい

百

Ξ

千

春・はる・カメラの春

奥へられ記憶者側では着々準備を 英版でこの程やつこ四組の腔中が 内のダンスホール 問題に関東駅の

ペロケ 代表者は村崎樂童氏 豫定地は常盤町三三番地、三五 豫地で二階盤近坪三十二坪の小 規模ながら華鵬を極めやうさい が趣向であり資金は必要額だけ が観点がら華麗を極めやうさい

一内にある小師賊獣を揺蕩したるの「願した『長春電話』

許可指令を待つ

市中のダンスホール四軒

ることになって

美濃町大火原因

まだ判られ

損害は四萬四

春 マ 美しい腕、ふくよかな乳腺、粉着のサンブルをつけた。 が「動の都」なら確子一枚ショーウキ 人に投げてある 人に投げてある 人に投げてある 人に投げてある

ンドの中は「熊の春」だ

大院中の上海事代の像網兵五十 は十八日午前十時横須賀帝軍網 は十八日午前十時横須賀帝軍網 院に鴻井皇后宮大夫を御差遺、 優に鴻井皇后宮大夫を御差遺、

る、右はロシア側の阻止により我 - 総裁等河方面に耐水集結しつゝあ - 総裁等河方面に耐水集結しつゝあ

敗走の李海青軍

農安襲撃を企圖

關東軍糧秣

長春到着

倉庫の火事

便衣隊の放火か

自縄自縛の勞農

**神軍病院**に

御使御差遣

東支東部線

数機のため十七日午後五時十五分 こなつた 『長春夢』 一般院で置大尉の戦ゆる第○○除は り挑戦して兵庫の歌郷を期する事態しで織の琺瑯あるに鑑み確立は、協が他の郭鋭部隊と協力し東西よりが機のため十七日午後五時十五分 こなつた 『長春夢』

主力で共に長春職餐ハルピンに向第000隊及び○兵第000隊の

まる。此等反古松軍は某國と警察 対用してハルビンか雅つてゐるが 対理は第一のと を表現では、一般で表現で表現のであるが

朝鮮部隊ご協力東西より挾撃

平賀○隊敦化に急行

丁超歸順誓言

### 哈市內 黨少年軍が畫策 暗殺團を組織主要都市に配備 の諸機關破壊

『東京十六日登』天皇陛下の御料 東六輔はこの程完成され一木宮樹 一本宮崎は十一大宮樹

を一周も自出たく式を終った

殁者 慰

御料車下檢分

旅順聯隊の

列車に衝突

コサノ二千圓、中本米吉二千圓で

醫療方面の

社會施設

大連にも必要

我兵二名重

除隊兵

内地へ歸還・

下め滿洲國野人は憤慨の極に塞しその成代は治觀されてゐる『奉天電話』市に 配備しつゝある、かくのごさく北滿における蔬菜の卑劣なる陰觀 ほこの計畫は東支南部線において敢行すべく企圖してゐる、またしめるため電信電話局、電燈、驛、給水塔を破壊すべく申合せ総務に微事せらめてゐる、また赤鷺少年軍は決議の総料、ハルビン市内をよれば北溝飛熊工人総合食は必年軍中より六十名を選び彼等に統器を支給し勢起餓事館によれば北溝飛熊工人総合食は必年軍中より六十名を選び彼等に統器を支給し勢起餓事館に は最近決死的暗殺團を組織しこれを三班に分ち北滿重要 都はこの計畫は東支 南部線において敢行すべく企圖してほる、また 陰謀が衝次露骨さなりついある

北滿騷亂陰謀の 本部は黑河

及吉林軍某國と策謀

九

て直し殿備か整へ交通の不便を「烏擦軽放火、貨客弾車を勘察し採」り今や自郷自郷の態であるは王徳林軍を一線に立て陣容を「して兵嶋は数國軍主稱し尾つ端かいロシア側は兵庫の鉄區構造支東部派線が窺つてゐる反吉林。 ないま見極めたゝめま見らる、高いロシア側は兵庫の鉄區構造技能に猛魔を搬ひ息車引揚後。軍が長驅して海林以東に進養し得。 斯くて我軍の出跡を快よしる海が館に猛魔を搬ひ息車引揚後。軍が長驅して海林以東に進養し得。斯貞な諸洲區側に要すして 間島の兵匪殱滅 いロシア側は兵匪の跋扈跳梁によ

の支験を楽してゐる、ロシアは東土なった騒もあり列車の運行に多大なった騒もあり列車の運行に多大なった騒もあり列車の運行に多大なった騒もあり列車の運行に多大なった。 斯くて我軍の出動を快よしさしな 増良な満洲國側に要求してゐる、鍵の損害莫大なりさして警備隊の

王德林司令部 ボ市に到着

赤系の陰謀露骨化

本 力は十六日一先づ百草溝に帰着した、王徳秋軍は老爺織四北五里のた、王徳秋軍は老爺織四北五里のた。王徳秋軍は老爺織四北五里の ・ 三がいら龍米村、戦後を狙つて居・ 城集合も他の反吉軍を梛呼聴して

二千名の匪賊 琿春方面を狙ふ

『ハルピン十七日数』間島方廊を 売して居た王徽成の司令部は十五 がして居た王徽成の司令部は十五 列車に出發、内地へ勝頭の途に就 十九日午後四時三十五分旅順職發 十九日午後四時三十五分旅順職發 が車に出發、内地へ勝頭の途に就

く事さなつた

が歸連 變つて

兵庫愛國號十

七日命名式

カ)は本日午前十時から武庫川尻間海軍機(水上低等機で四百場)

ルには異既無かつたさ

新鋭の交代部隊 長春着續々ハルビンへ

即ち始路の駅のうち第の駅が会 部隊は緩々長州着北上してゐる、 部隊は緩々長州着北上してゐる、 

美濃町の大火に

隱れた美談 飛込んで一家を救ふ 消防署で表

を参門の献き交代の課定で長春費 着とた、十八日午前ハルビンに駐 をお、十八日午前ハルビンに駐 展達十六米さいふ然風の中に火な を配ら十数年を廃墟に離した美 か町の大火に際れた美談……京都 が確率合はせた が確率合はせた を配し再び家内 を配し再び家内

『東京十七日餐』東京市の行政整理による人<u>は</u>整理がは二百四十三名と決定した

東京市の整理

で火事の話をし

郷土訪問飛行

の多代ぶりから

駐割部隊の交代

月以来一回も使用せ 【東京十八日登】朝鮮が最初に生者か三名が仕事先が 類土版世帯行を得かって、人だ空のスポーツマン邦は抜れは で 間君は昨年十月在警中に優秀な成績で二等指揮士の登訳を得て 成績で二等指揮士の受いを得った は は ( 工等指揮士の受いを得て は ( 東京十八日登 ) 朝鮮が最初に生

靴は既成靴にきまつた

横井寅三郎商店

戦において足

拆院

間造船技術にも開ては海軍になった フル・マラ 申込み今日限り

門による本社主催の本社前祭大 助したこさは當時所報の通り

トルーポークで五 自水支水セナ米シ 自水支水セナ米シ 自水支水セナ米シ

無錢遊興常習

本社以業局事業部宛

物の卸デバート

「大学車込送草債券高價買入大阪東属世帯隊南門的大黒 子食付經濟無損ウツの標な属事賞、毎月四五十名温敷)大黒 三平四百個に働らかせ一年に二百四十通抽蔵此絶大賞義朝市も新 上、「大学家」

ガラス・金物・漆器類

津雲代議士

罰金千圓

範模 [ ] 申込順即時配本

湖

信濃町電外八二の番十

生産業場質のレグポーン粉 白三イカッチントス ●御米の殿動相場は御東京 

電四八二二

天婦羅の御用意は

大連郊外土地會社會語 代金即時換又は七年まで年月賦沈一、土地一區劃百坪內外一坪十五國內外よ一、土地一區劃百坪內外一坪十五國內外よ一、環境開靜風景佳何にも電車沿線

大連靜浦同見晴臺同初音町其他

日本 東京風菓子謹製 各國 落昆煎 料品品

リアニ店紙具文地各

板

眞 五. 氏 六頁列

定資金一圓五十錢送料

三町速浪市連大

品五圓均

北大營戰闘實演を

場の食庫の悪手中間より火の手が 有の食庫の悪手中間より火の手が でいふに開催者の低速が一

大火の殿既については大連 海駅を召喚販鵬べ中であるが 海駅を召喚販鵬で中であるが

調査團に見せる 支那の逆宣傳を懸念

酸に像がす。 を持載とす

龄"石"王"光 花王容器御申込數 係員日夜發送に忙殺 花王容器贈呈を發表致しました處御申 去る三月初旬御愛用者奉仕の爲文匣式 萬五千餘通となりました 込は豫想外の多數に上り、 反映と厚く御禮申上ます これ偏に皆様平素御愛用の も何卒不悪御諒承を願ますりする場合が御座いまして 居りますが何分この多數の係員一同日夜發送に努めて 正價一個純粹度九九 既に四十二



(11)

河野想多魯潮

(260)

三百三千

木山標記本店

### 兩路から 決定

海路は奉天丸で廿日頃溏沽出帆

地方出外二十日ごろさなる見込みである 上海へ向け出帆見合せを命ずると共に 新嶽蘇に存るわが騒激燃に黙しても動脈を織じた、経天丸によるさするさ大鉄化の振當につき日支雨アシスターを交へ協議中である、特内室で同時に目下大連にある琴天丸に對して北平特電十八日鑿至急報』 戦闘戦略を勝の激闘戦戦にわかれて入満する他は本日正午最後的確定を見、今は暮ら委員その『北平特電十八日鑿至急報』 戦闘戦略を勝の激闘戦戦にわかれて入満する他は本日正午最後的確定を見、今は暮ら委員その 路を他の委成及び支那委員一行は海路大連を終て素天に落合はんとする家につき南京政府に照倉中で回答がリ次第荷の銀定で出象十七日發『聡煕調音委成は満洲人に関しジュネーヴより適宜に随るべしこの回訳に接した。よって私家にる大部の委員及び日本委

【北平十八日發】國際蘇聯觀音觀は明十九日二手に分れ一部は深路大連に向ひ、一部は解路鐵州經由宛天に向ふ事に決定した

通商妨害等の資料

かれて資料蒐集中のさころ十七日 右は何れも一九二七年以降事變まである『奉天電話』がれて資料を提出するが、「二、條約蹂躙、不當課稅を强要、「一、居住妨害の事實」がある『本天職」「二、條約蹂躙、不當課稅を强要、「一、居住妨害の事實」がれて資料蒐集中のさころ十七日 右は何れも一九二七年以降事變まである『本天電話』がれて資料蒐集中のさころ十七日 右は何れも一九二七年以降事變まである『本天電話』がは民間よりは廃職の害食 である。 では、これでは、これでは、 では、大きないである。 では、大きないである。 でのようでは、 でのようでは、 でのようである。 率天商議、調查團に提出

調査團警護の

満を急ぐ調査

顧維鈞は噂に反して逃げ腰

河相外事課長來連談

竟めて額治慶に對し

き する事 一、顕維約の ・ 支那さしての 最大 限度

再開されるものさの説が當地で なきを認めたらしく

獨首腦の會見

日本皇室記事の

をきに北平にある國際職計調査委託 (本の人滿に關し色々連級指令 政一位の人滿に關し色々連級指令 政一位の人滿に關し色々連級指令 政一位の人滿に關し色々連級指令 政一位の人滿に關し色々連級指令 政一位の人滿に關し色々連級指令

依然聯盟に 南京會議決議

日午前十時より汪精衛、羅交戦等【南京十八日教】蔣介花は昨十七

-ニング、同外務大官フーニング、同外務大官フ は十八日初めて一般軍具されて居る、なほス

野派の新黨が

民政黨に及ぼす影響

労農の對日態度變化

米國との提携可能を說

日登 社會民主人義之 分裂は遅れない、第二に空域大料 を計會主義であり、来 るべく斯くて氏政策・整磁県・抗 を計會主義であり、来 るべく斯くて氏政策・整磁県・抗 を計會主義であり、来 るべく斯くて氏政策・整磁県・抗 を計會主義をであり、来 るべく斯くて氏政策・整磁県・抗 を計會制役政界の海時 して要生し得るや多事多職は強れ

0

歌するものと触られてゐる、これに關し日本郎は樂殿館見解を抱き上部問題の極極もいづれ関南なる解決に球選するものとしてる告回職を解いであるが、支那価では經濟委員會の證可日に戴る不滿足の意を表しその經解を要求してゐるが谷れられれば想會の際ジュネーザ十七日發】解療委員會跨長イーマンス氏は日支國國代表に對し昨日の練療委員會の結論を傷へたので顧代表は各本國政へ始めたゝめだとしてゐる、然しアヌリカがロシアの差伸べる此の手を振り返す事は容易であるまいと觑られてゐるへ始めたゝめだとしてゐる、然しアヌリカがロシアの差伸べる此の手を振り返す事は容易であるまいと觑られてゐるへ始めたゝめだとしてゐる、然しアヌリカがロシアの差伸べる此の手を振り返す事は容易であるまいと觑られてゐる

東國境派兵を云々し、正つ満洲に野し米、節の並揚に同一府の遊電際に過ぎぬこ何力之が事性を否定し、縦けて楽たに揺らす、

歌に過ぎのさ極力之が事態を否定し、続けて楽たに描らす、スチムリン氏のアメリカ 出始前後よで満転中の影製代表部の姫き騒くさもイースター祭職までは満洲に對し継黙職等和我教を標榜し裁軍の勝支國蝦夷る祭園の態度は悪く動き出した、疾に ロシアの態度に急激の變化が現はれて來たのは注目に一次チムソン氏始め歐洲政殿の大立物の釈込みで、これまですくみからだった軍機會時、膨騰會議其他語問題に對

日農組合の 修修で

新のため職権能に

程演奏は礼

武市支那領事に更迭要求

### 谷員會の こ我ん を越ゆ 公議は

祭戦會議局職打職策につき或種の抵蒙を職告者中に捌げんさと、外務監局の建築においても二月二十九日、三月四日の職 証決議を忠策に行使じつゝあるを鰥委員會 の空 氣は 大體に おいて日本に有利で、支脈に魅力を『東京十八日景』十六日の十九國委員會秘密會議の内容に関する長岡代表の超 ので秘密に附され居るも大體次の如きものらしい 意を恋いてゐる、而して希提家は日本軍の撤収時期に關すれ、日本側の主張の安監なるを認めてゐるが、只依俄中の加ふるを主戦さし、停職交遷に關し總會に提出すべき報告報告を認測は十七日年後殊務者に強者したが、 様によれば

日本政府單獨聲明案中に六ケ月以内に平常狀態の回復を見るな希望するこれるが、この六ケ月を削除す

び決議の形式について疑惑あり、よって信仰管理と思いなざるを得ず、この點において信意感とよい、されませ、 九國委員會の權限を越ゆるものといはざるを得ず、この點において信意感とよい、きを任務とする十七報告死至報告案を決議するは 現地における交渉經過の事實報告を總 質に提出すべきを任務とする十七報告死至報告案を決議するは 現地における交渉經過の唇唇そのものに驚質師に縈鬱する如き提案をなすかにあり、駅る振線を含 する事さなつたが、日本さらては十九國委員會を承認せずとの範則を執為について疑義あり、よつて外称監局は更にこの監を明的にらた上長間 あい上郷告家の有利、不利は婚屋する處にあらずこと大使の議訓に對し態度を決定し、十八日午前中以に対いて 裕振毅をなさんとする委員會の機械問題及

停戦交渉成立を要望

受員會の意同さして日支限国が成るべく適當の所で解け合ひ速かに信職會業日本の立場を述べ、 影前日歌のイーマンス、ドラモンド歴氏と支那にジュネーザ十七日登』長間大使は本日午前ホテルベルグエにおいて郷極委員 停戦會議愈よ續 を樹立せしめるやう本國政府に具申で職業態での 曾見の大策を譲取らた、イーマンス議長は要イーマンス氏を會見し、停戦會議に對する

「ワーッ」 洋子は飛び起きた。 洋子は飛び起きた。 だがの影楽のやうに立つた。 不意に木小屋のが解から、ピス できた、ピス

「やつたな、世林め、あのお馬鹿

ちやんがしい

(也速該か知らり也速該だつたらつかいてもう一般響き渡つた。

(まづ可かつた。…

顔代表の悲觀

内容は

のおきを認めたらしく、近く上海に終戦會等級無の日 

、一概經濟問題にも及 ユーニング首様は本日 ア特質十七日盤」ドイ 軍縮、經濟問題協議 かつれさいふ、スチムソン氏は風かっれさいふ、スチムソン氏を訪問が三十分に眩 ない ない ない は 出席 不能か と 懸念されて あるので十八日の一般

議々題 けふの軍縮會

職監管局の動台安管。 と出て居たら、初めから問題は 0 0

なかつたが…

して――なんていふものあり、「好きだよ、本葉ださも、だからして――なんていふものあり、「好きない、外頭、こんな低なーと、 満銭機裁にアメリカ人を低齢」 荒い島が洋子の顔へかゝつた。 でもメイ製造さる。 を一とダンス常で で……れた、れえ、れえ」で 配ふへ行つて: …透げやうよ二人

だんご細酸政
が、中野氏一変、中野氏一変、中野氏一変、中野氏一変、中野氏一

おてハッキリこ政総に指げるが お意味において、民政際に自由 を意味において、民政際に自由

は「行こうよ、耐ふへ、繋古人のないないない。 さ決心し

を振り振り一覧に定つた。 人勢が背後から聞えて來、ピス トルの音が飲養響き、終繁、���� ・ 地蛇 道つて来る人齢がパラくさ見 態数は背後を振り返って見た。

種開か 報告により 撤收監視同意 ▲ 東屋喜八氏 (大阪實業組合聯合 會理事)同上 合會副會長)同上 合會副會長)同上 ▲ 開田療太郎氏(內外綿專務)同上 ▲ 井上正明氏(滿日東京支社長)同 上 久野黨氏(奉天賢科大學教授)同上牧野豐切氏(住友合資顧問)同上松殿吉郎氏(滿鐝社員)同上此時,屬皮廳事務官)同上 竹緣之助氏〈日本樂器監查役曹記長〉同上

「態歩よ」

京古人もついて来た。 家古人もついて来た。

さ消子は強へた。

▲貧富淳氏〈陸軍大佐〉同 \*大佐)同上

課長ン同上



務當局態度 出席、新役員新運動方針か左の如 常任中央執行委員 稻富 稜人

たゆつて事務を引編ぎ締京の舎 が、三宅参謀長は様本域務の着底 東京職養列車で赴低の途に上つた 東京職養列車で赴低の途に上つた で、三宅参謀長は様本域務の着底 で、三宅参謀長は様本域務の着底

前田大佐歸國

國.

挿畵 伊 藤 史

洋子はしばらく耶を灌ました。 あてられた。 しかし銃口が、蒙古人の腱膜へ

ウイグル人の國金 0

名に上つた 謎

後宮大佐歸任 大統中縣に黙てる艦艇官民の送別の離を連べ、大谷中縣の艦部では、送別のかを連べ、大谷中縣の艦部があのかを連べ、大谷中縣の艦部がありた。送別のから、一次のは、大谷中縣の艦部がありた。 大谷中將送別會

三十二日間東京にるて色々な打 合なやつてあたのだ。東京は忙 合なやつてあたのだ。東京は忙 といよ、總裁問題は何も知らの まれてわない、現に角滿洲問題 まれてわない、現に角滿洲問題

鐵道問題を

打合せて

五月新

思ひ出の軍歌集戸山學校軍樂版 麥打の歌鬼田良三 新根八田・風車の歌鬼田良三 のがロメツタベルトラメリ の 歌鬼田良三 作人よ何處へ 淡谷のり子あけみの 歌 編 種子 要きの女 王 淡谷のり子 天曜の彼山 道道 小 電子 大 を 大 を 大 を 大 を 大 を 大 で な 大 で 、 で な 一 明歌 義經千本櫻 竹本建太夫 **穀經千本櫻** 小道 版谷のり子 分類家 **建** 茶 阪市市市 東川川川 勝段荒猿 太四次之 寛郎差助 松 神 一 地樂天。 今 英 本 皇 ボ 歌子地 夫

20 費美子

ある時は日本人全體に對する解解さなる恐れあり重大事な想能と日本皇室記事は日本人に對じ非常な刺蛇を興へ受してし戻り野心中學室に関する記事は摆脱せざる事な命じた、理由は 掲載を禁止 廣東支那新聞に命令

た、村曾見後米、獨い ・村間に国リピラ

(同じ手さ)

彼がは懸念・

聯盟調査圏乗用の奉天丸一

ない しかし共時洋子の手によって しかし共時洋子の手によって

# 松花江鐵橋と對青山驛間で

出發に際し十分鬱斑し汽動車が前方につけて前進したので無事チチハルに動着したの下が揃つて爆撃を挿入せんこした形跡あり賊は目的な果まで送亡したものでする。 ン下を掘って爆撃を挿入せんさらた形跡あり城は目飾を繋ぎで逃亡したものである、なほ天野〇瞰さ告げ、一が東支監視人が駈けつけたさころ城はすでに変をかくしたが現場を蹴むした結果レーを告げ、一が東支監視人が駈けつけたさころ城はすでに変をかくしたが現場を蹴むした結果レーと告げ、一が東支監視人が駈け山職との職を巡視中の満洲人巡視点が野湾山職が近を通過4個者から一つのためが天野〇郎の軍用列車通過に際してまたしく、壊っ出載をなしたものがある、十六日午前に向ったりが天野〇郎の軍用列車通過に際してまたしく、壊っ出載をなしたものがある、十六日午前に向ったりが天野〇郎の軍用列車通過に際してまたしく、壊っ出載をなることものがある。十六日午前に 爆藥装置中や發見

一般心中であるミ『長春登』 古文線隆道に爆撃を動ったががは兵庫の仕撃さ見られ率び撃備兵のため未然に費見され附近一帯は日滿陬軍古文線隆道に兵撃として爆撃、満州側撃備部分部の入野した惨戦によれば

**春空に響く萬歳に** 

三御用船から 朝來埠頭は歡呼の嵐

都市計畫から…

サロ

大連の都市計畫打合せに

京大武井博士來る

た皆てた京都帝大教授

結婚ロマ

六十九名來る

林新學務課長 人を取る心算だ」この壁明を変功 を助上卒業の清報新入社員六十九い を助上卒業の清報新入社員六十九い を助上卒業の清報新入社員六十九い 01 浪

彈壓の逢廓は皆許主義により

檢番は組合へ許可

関心を特たれて來た、即ち大連統が針及び態度に就いては多大

乖 をようして、 は去る一日的帰催業の許可を受け にだかりであるに十六日午前十時 におかりであるに十六日午前十時 であるに十六日午前十時 であるに十六日午前十時 であるに十六日午前十時 であるに十六日午前十時 **轢殺犯人** まるよ

を まつてゐる、 監戒 通なものは を 計八覧なんてなのが 描つてゐるここで 情殿、 學生 服や々の姿中には 監要 十八覧なんてなのが ある、一行は を 計八覧なんでなのが ある、一行は を 計八覧なんでなのが はつてゐるここで の 大きなものが 描つてゐるここで の 大きなものが 描ってゐるここで の 大きなものが 描ってゐるここで の 大きなものが 描ってるるここで の 大きなものが まなものは 身優 の 大きなものが まなもの の 大きなものが まなもの の 大きなものが まなもの の 大きなものが まなもの の 大きなもの の 大きない の たるい の 大きない の 大きない の 大きない の 大きない の たるい の 大きない の たるい らす種々様々なタイプの社員が集

**元** 天质结岛

pompeian

優雅な香り

しさに附く

白·淡紅·黃色·肌色。

部隊の

明夜四回に

百個は一六九個丁度

戀 愛線 ABC 淋病征伐

西國公使來朝

件東氏着任

使アイコ氏は夫人同代十七日午後『東京十八日登』駐日スペイン公 極濱入港の英汽船ランプラ號

かぜに

三月計り浪人な大分縣の内務部

夫の捜査師 市内岩代町 東京カフェーの女給養願マサヨの 中様の夫杉本編太匹(コニンは十六 にゆく途中要をまいて歸宅し大ト にゆく途中要をまいて歸宅し大ト で行方を曝した、続宅して見て驚 で行方を曝した、続宅して見て驚 規の家出 市内但馬町十番 地田中徳松の妹ササエ(一七)は十

毎日の御食膳にも 春のピクニックにも

産婆に川 人 ラ 所流 行 洋 条 日 他番一四通専目丁二町速飛市連大 電話が300・7(85 支店 建額両銀座近曜話22132 イキ町三九 南語 ホハ三四

性然の赤字補 まむし F. は変をのむと威智に罹らない……と を許です、かせを引き易い腺病質 の人、病弱な人、冷え性、特に弱 の人、病弱な人、冷え性、特に弱 の人、病弱な人、冷え性、特に弱

充に 1 RIA 力に 電話九四七人番 堂

なたのですが私は高頂に入りた せん、早く行けさ言はれるので つてぬますので私は何も知りま 東京の内藤さんが心配して下さ

「一端歌歌において十八日午前十時より賞素を旨さした簡単なる式を擧り賞素を旨さした簡単なる式を擧りで、午後四時半發列車にて大連に 像執政令妹二格姫と郷国務總理 一格姬結婚式

進星節記入 キューニー

マヨネーズ

魔話ニーセへの番 店店

防虫 『一下 数 紙 本品は特種の塗料を紙と紙い間に塗布して有りますから耐久に富んで居ります ・ 本部は特種の塗料を紙と紙い間に塗布した連市加賀町四八 矢 野 高 店 ・ 大連市加賀町四八 矢 野 高 店

た原那地にお げた旅順の

櫻

家庭に居ながら

料理が覺えられ

洲の第一夜を送ることゝなつた他の者は補鐵職身寮にそれん

滿鐵入社の

運動選手

・本部でないでは、 を関する。 は、本では、 ないでは、 ない 傳ふるもが、好傷の歌いである 長官々邸の二株綻ぶ

地で佳子夫人並に合息管機同件來任語る

室地で記した谷粉士は上陸完了。 あいだ丸にて來連の○歐長棒遊鳴第一歩が記した谷粉士は上陸完了。 あいだ丸にて來連の○歐長棒遊鳴

懐しい滿洲だ

杯少將語る

春・賑かなれ

知名士を満載したうすり

根学貞治(京都帝大)櫻井修八明を 主將)田中申一(東京帝大下M)→ 主將)田中申一(東京帝大下M)→

藤川選手來る

於東京島眞學校 紫朝教 東京島眞學校 紫朝教

で見た旨例部人御申込次第進呈一詳細説明書一例希望の方は滿洲日報

滿洲一手發賣元

ポンピアン製品 マツサージクリーム デー(書)クリーム ナイト(夜)クリーム ローズ クリーム 水 お し ろ い 口 紅・タ ル ク ないではまむしゃ 小松家本店戦の素婦 大連市信書で金書卓形 んそく治療 動る所の者名雑貸店・小間物化粧品店・菓店及消費

◇ 太 平 洋 ◇ 動名子の愛國小等々、小笠郎 ・ 大 河監督共同で立花を ・ 東代制作品、中野英介。 ・ 東代制作品、中野英介。

新な能でが、常日の番組は左の姫 世流蔦繁會で、乗る二十九日正

祭べ目差して大日酒の襲撃で開途、五月十日前後の大連神

新棋戰兵也

剪

劑

無味・無臭・副作用なく・習慣性なし

四段 人 福口 養雄

日

緑葉會の春季

午前九時より渡速町「ほてい」に 午前九時より渡速町「ほてい」に がで、登季諮問難子大會を除催する が當口の番組左の如も 奏上、實盛、角田川、善知島、 伸光、鞍馬天狗(番外) 延 伸光、鞍馬天狗(番外) 延

病の

銚子醬油株式會社

・権暴につけた提州の火が安心してあるらとい元 | 一覧にの無いて、所を下院につけた| 一覧面の黒い総は魅せられない必必の組合! | 一覧面の黒い総は魅せられたやうに

七年前一座来派したことがあり、一十旦独日で大連劇場に出流するが一十旦独日で大連劇場に出流するが一十旦和日本の大学 花柳春幸

蒙モダ 小宮主演川浪監督で 新興滿洲國を紹介

戦に決せんものと物書い意義込みンストーで容典行の興勝をこの一

賞されます

産婦

入院の應需

節人の病は婦人の手で

本館 今津化學研究所

イマツ蠅取粉に限る

南京虫

子供は直には

萬

おいしさに 飛びつきます

ヒゲタの

(119)

は左の好く

(可認物便郵便三第)

和屋川岸へつうな暗れて、四端は駅を続いたたやうな暗れて、四端は駅を続いたこ見えて、今の焼まで、チカインだって居たったがですっていた。

に秘便習常

ラキサトールは…… 等庭に、旅行に、應念 等の頓用さして最も安

惹き起し、その毒素の腸内壁より血液中に移行することに因り若し數日に亘り便通なき時は、腸内に異狀醱酵、兎斯發生等を

B

回の便通は健康人の常態なり。

害を來たすこと多し。 頭重・倦怠・眩暈・嘔吐・食慾不振・蕁麻疹・顔面腫物等。種々の障

樂劑の利用により常に便通に注意せらるべし。
婦人は殊に常習性便秘の傾向ある故本劑の如き安全確實なる て服用し易し、排使時腹痛等診く、排使溶ら乃至10時間後に軟便を排泄するも習慣性なく、無味、無臭にし常ら乃至10時間後に軟便を排泄す。

株式會社 塩野 義 高 店 二國五十錢 便

育畑中●常盤座

金式

湖 畔 の家

胺四

イセ町 **神勢屋** 

**福牌軍手卸賣** 

山本洋行

性病 数位下度

**淮院** 

D

節は何時でも

お相手のない

小杉 高枝の竹建

電話三六六六番

清物佃煮 に 品質の優良と薄利多賣は弊店の特徴 大連市山縣通七番地 大連市山縣通七番地 大連市山縣通七番地 甋 0 開公日四十

ATOL

### 本邦汽船會社の 積極的躍進計畫 一窓で内地のストック品か引いて流 如きは紡論望むべくもないが今日 製物類の裾場は鱗が一噸五十個見 つてゐる、疾況時代の五百個量の 乗を控えて最近大連に於ける機械 工場が如何に苦境にあるかを物語 間でこの安値である事は内地製造

### 内地農産物輸入關稅引上で 在滿特產業者の意嚮

明日委員會諮問

小川市長より小川市長家なるものは秘密會議さして購く極くない。 は一大連市役所では中央卸費市場の吹一新に繊維して大事を踏んだりをは、大連市役所では中央卸費市場の吹一新に減減した處より見ればの大連市役所では中央卸費市場の吹一新に減減した處より見ればの大連市役所では中央卸費市場の吹一新に減減した處より見ればの

關稅と幣制とが

11年、040 4 元元、九二 11年、大八 4 三七、五二 4 元元 

**教告及監事の意見書座** 中財産目録、貸借對照

三月の賣上高市設小賣市場

場の賞上高は三十一萬一千八百四十九風にして前月に比し三千八百二三十九風、前年同月に比し一萬二三十九風、前年同月に比し一萬二之。 ・今答市場別にその賞上高及 は、今答市場別にその賞上高及 は、一次のでは、「一、「一、」

全庭分录 全庭分录 全面 三、四面卷数 一三、元、面卷数

先づ確定せねば

大阪實業會 二氏來連語る

東郷合家合會融會長男神祭 同理事業谷事八、同書記長 東郷合家の一の三氏は大阪改工会議所

神社大祭日 行休業 五、0.00回 0.000 五、0.00回 0.000 五、2.10回 2.000 五 2.000 五

滿蒙資源開發に

囑望する鋼材界

前途に微かな光明

定期喰合高(世八山) 定期喰合高(世八山) 前日對比較 前日對比較 和二七六〇千枚二七千枚 加二四一五百箱 五百箱 五百箱 五百箱 五百箱 五百箱 五百箱 五百箱 五百箱 

滿洲でも

働きたひ

港ライリい地で無連したが艦中外艦車が崎田源大郎氏は十八日

年の現状に於てい

では回復の力はなさるでは回復の力はなるでは回復の力はなるでは をかまるでは回復の力はなるでは回復の力はなるでは回復の力はなるででは可能を表して をするではできません。 でするではできません。 でするではできません。 でするではできません。 でするではできません。 では回復の力はなるでは回復の力はなるではできません。 では回復の力はなるでは回復の力はなるでは回復の力はなるではできません。 では回復の力はなるでは回復の力はなる。 今羅延定 株式出來不申 取 取 麻袋低落 金早合糶延定 渡 新 額形計 期

来高(十六日) 来高(十六日) 小元元〇枚 一、元元〇枚 一、元元〇枚



大連汽船株式會社 中航行專納價提片大連銀島町 於 和 公 司 電話也工七五·七八六八 電話也工七五·七八六八 電話也工七五·七八六八 電話也工七五·七八六八 電話也工七五·七八六八 電話國五二六五·四六八一

株(弱保合)

二十六風七十段

51 五十二回三十錢

□ 今朝大豆は銀僧 □ 今朝大豆は銀僧 本北浦筋の質にともおり が内地筋は依然ことで本 が内地筋は依然ことで本 が内地筋は依然ことで本 が内地筋は依然ことで本 が内地筋は依然ことで本 が内地筋は依然ことで本 で合計二萬三千車程度で で合計二萬三千車程度で

品 鈔 柄◆ 前

た た た 会 記 引

元並を

止安高寄

不不不心人兩者着着

值值高值 上海標

金

上海で高大日本円 14 『上海十八日登』投機筋質持ち弗 高替は先物を乗換する傾向あり、 初め四五月物を買びあさ七八月物 か質つてゐるが、銀行に近物質寺 かで、銀行に近物質寺 かで、銀行に近物質寺 かで、またに近物質寺 大阪商船棒式大連支店 電話內面上 大阪商船棒式大連支店 電話大連支店 電話大連支店

鮮銀帳尻(十五日) 野衛 写(1851/15元/八 野 行高 与(1851/15元/八 野 行高 与(1851/15元/八) 三百三十個

セメント 3,543.1 子 5.655.0



-

各社の競争漸く熾烈

**○** 田 期近

本年ノ本日 昨年ノ本日

2,528,8 371.418.0

9.658.8

2.111.9

79,984.7

7.231.7 2.787.7

1.265.6

1.091.5

423.4

575.4

3.841.1 4.975.4

7.467.7

1.609.4

1.806.1 654.5

1.978.0

1,046,0

103.804.6

25.9

計

麥

穀粕

骨油

粉蘭

其他ノ油類

麥燒

勝芝大

2.772.0 781.4

298,056,2

13,572.6

2.074.8

21.716.2

3,177.7

1.185.2

1.410.5

2.035,0

44.0

184.0

371,4

4.835.7

8.133.0

2.688.9

24.0ES.S

1.055.9

75.1

2930.6

7.915.7

741.3

當地保內地寄高引安

方安に寄りる なみた。 質埋めさマ。 質埋めさマ。

保

値 段 棚野

三羊商行へ

満**鐵株**の神 皆様の株屋

間が、ここれ之候の日時は人族兵他の

オプロゴール 五 東東

三一十十七五

公司 企 企 企 企 企 企 企 企 企 企 に 上 上

倫敦銀塊 「七月0分0 同 先物 「七月1分0 同 先物 「七月1分0 一元 11年1分0 一元 11年1

前週に於ける市況

市五品定期の一個宗 本五日 日本別 一五日 日本別 一五日 日本別 四分一を報じ、海州 四分一を報じ、海州 四方一を報じ、海州 で落こたが、常市人 で落これが、常市人 で落これが、常市人 でありて保合、高速 が、常市人

大監金額百三十一萬一 火郎曾市場に於ける六

融組

合

本第二回 章 學 章 那夫 章 那夫 章 那夫

**宣州**大分二

**曼明人分** 

安高引寄<sub>短</sub>東東郵日鑓鐘大大銘 値値値観 新株船<br/>
糖新紡新株柄

七日總會

物。棉

棉花

市

大豆 特

出土十十

高(銀對金二十萬三千個 20日 二九三 1六00 20日 二九三 1六00 20日 二九三 1六00 20日 11月 11日 20日 11月 11日

休日明けの内地様式は強調に蓋を 場寄り大株同事大新鰡紡共に四 場寄り大株同事大新鰡紡共に四 は一個高に寄つたがアト東新安を は一個高に寄つたがアト東新安を は一個高に寄つたがアト東新安を 大れて五品八十錢安東新は寄一個 大れて五品八十錢安東新は寄一個 大れて五品八十錢安東新は寄一個 大れて五品八十錢安東新は寄一個 大れて五品八十錢安東新は寄一個 大れて五品八十錢安東新は寄一個 大れて五品八十錢安東新は寄一個

東京期米 東京期米 前場等前場引 120 前場等前場引 120 前場等前場引

四五五